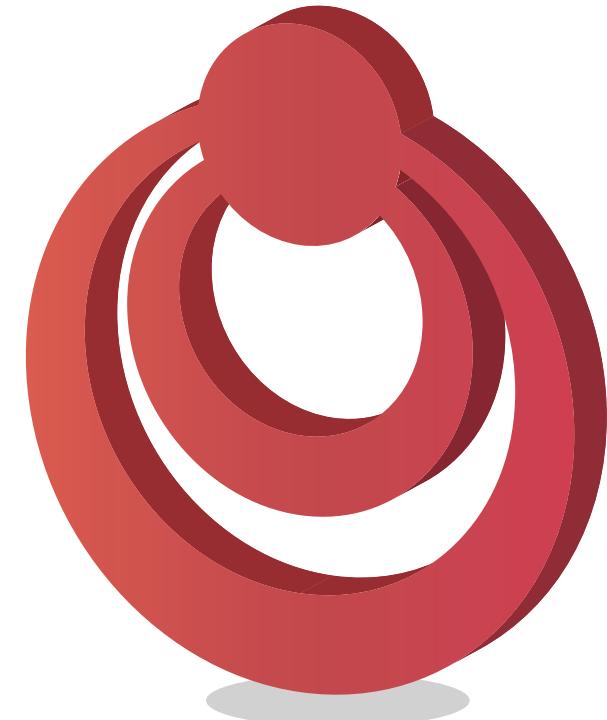




証券コード 9249

日本エコシステム株式会社
2025年 9月期 決算説明資料

2025年 11月 14日



2025年9月期 ハイライト

M&A戦略により売上高は2期連続して過去最高を更新。売上高CAGRは2期連続して20%台を推移。グループ会社における一過性要因から営業利益は対前年比で減少

- ▶ 成長戦略であるM&Aを当期累計4件実行 (詳細は決算説明資料15ページをご覧ください。)
- ▶ 2023-2025年中期経営計画における数値目標を達成
(詳細は決算説明資料24ページをご覧ください。)
- ▶ 賃貸ビル (JES一宮ビル) の稼働開始 (詳細は決算説明資料74ページをご覧ください。)

目次

01 2025年9月期 決算概要	P04
02 2025年9月期 M&A・PMI	P13
03 2026年9月期 業績予想	P17
04 中期経営計画の振り返り	P24
05 トピックス・サステナビリティ	P30
06 事業開発・研究開発の状況	P40
07 株主還元	P43
08 役員紹介	P47
09 会社概要	P50
10 Appendix	P65

通期トピックス

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

2024年

10月 11月 12月

IR 10月17日

株式取得（グループ化）に関する
株式譲渡契約締結のお知らせ

IR 11月14日

報告セグメント変更に関するお知らせ
剰余金の配当に関するお知らせ
決算説明資料、決算短信

IR 11月26日

公認会計士等の異動に関するお知らせ
役員候補者に関するお知らせ

IR 12月25日

第27期定時株主総会
上場維持基準の適合に関するお知らせ
資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応に関するお知らせ

IR 12月26日

有価証券報告書、内部統制報告書

1月 2月 3月

ニュース 1月30日

JES一宮ビルLEED認証取得のお知らせ

IR 2月14日

株式分割に関するお知らせ
配当予想の修正に関するお知らせ
第1四半期決算短信、決算説明資料

IR 2月18日

Jes 東海通建株式会社に関する
株式譲渡契約締結のお知らせ

ニュース 3月3日

本社移転のご案内

ニュース 3月14日

健康経営優良法人2025に認定
※5年連続

IR 3月31日

株式会社三進に関する
株式譲渡契約締結のお知らせ

2025年

4月 5月 6月

IR 4月1日

Jes 東海通建株式会社のグループ化

IR 4月11日

統合報告書2025公表

IR 5月15日

第2四半期決算短信、
中間配当、決算説明資料

IR 5月30日

第28期 第2四半期株主通信
第2四半期決算説明動画の公開

7月 8月 9月

IR 7月18日

完全子会社との会社分割に関するお知らせ

ニュース 7月22日

名証IRエキスポ2025出展のお知らせ

IR 8月8日

完全子会社の商号変更に関するお知らせ
第3四半期決算短信、
中間配当、決算説明資料

IR 9月11日

第20回 日経・東証IRフェア2025出展のお知らせ



2025 年 9 月期 決算概要

01

売上高（対前年比増）：M&A 推進により順調に推移

営業利益・経常利益（対前年比減）：主として一過性となる利益減少

当期純利益（対前年比減）：減損損失と繰延税金資産取り崩しによる税金費用増加による減少

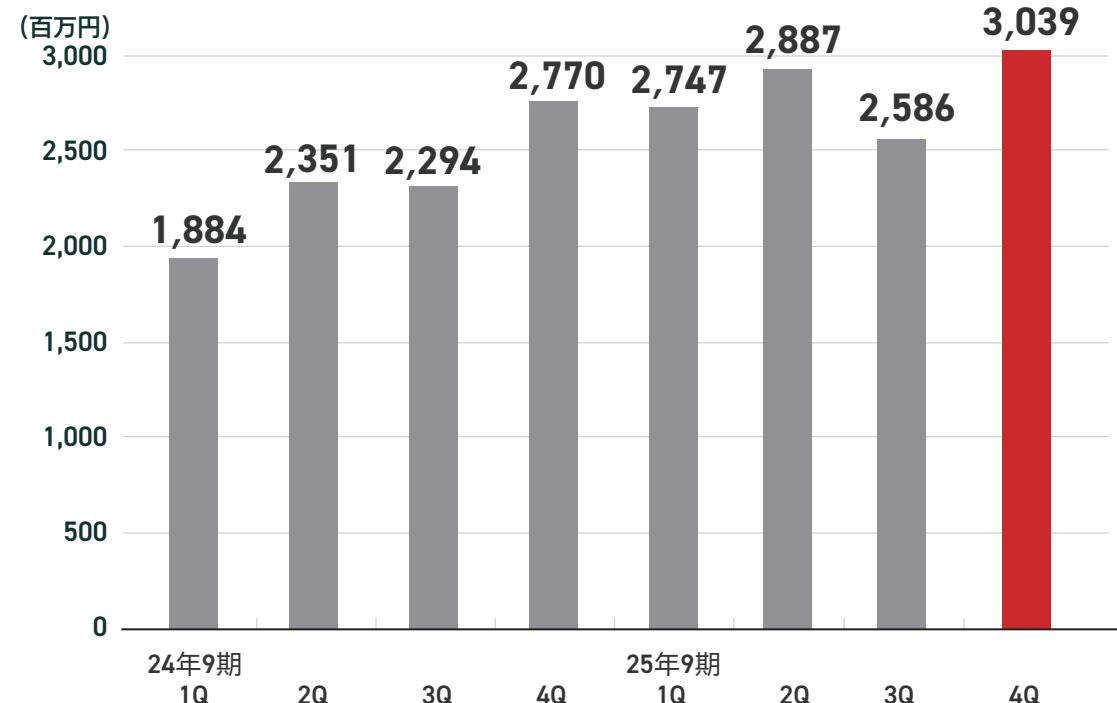
(百万円)

	2024年9月期 実績	2025年9月期 実績	対前年比	通期計画 2025/5/15 公表	進捗率 対計画比
売 上 高	9,301	11,261	121.1%	11,723	96.1%
営 業 利 益	760	437	57.5%	812	53.8%
経 常 利 益	802	468	58.3%	857	54.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	620	301	48.7%	700	43.1%

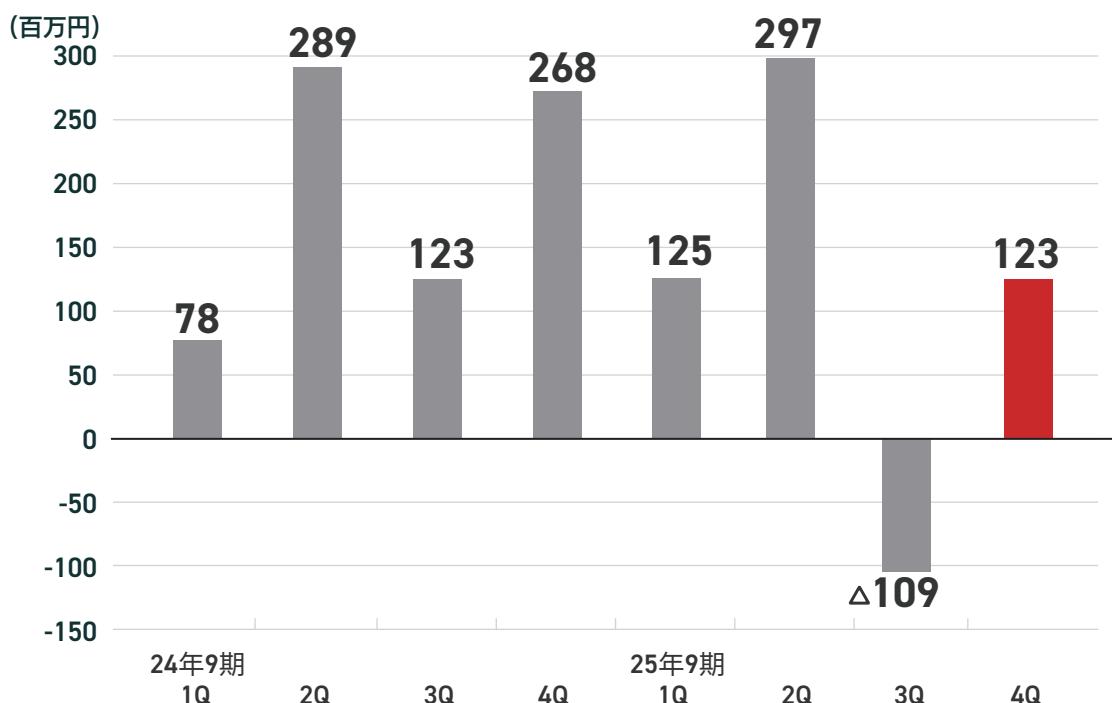
売上高：4Q売上も順調に推移

営業利益：主にM&A仲介費用等による影響である3Qマイナスをカバー

売上高の四半期推移



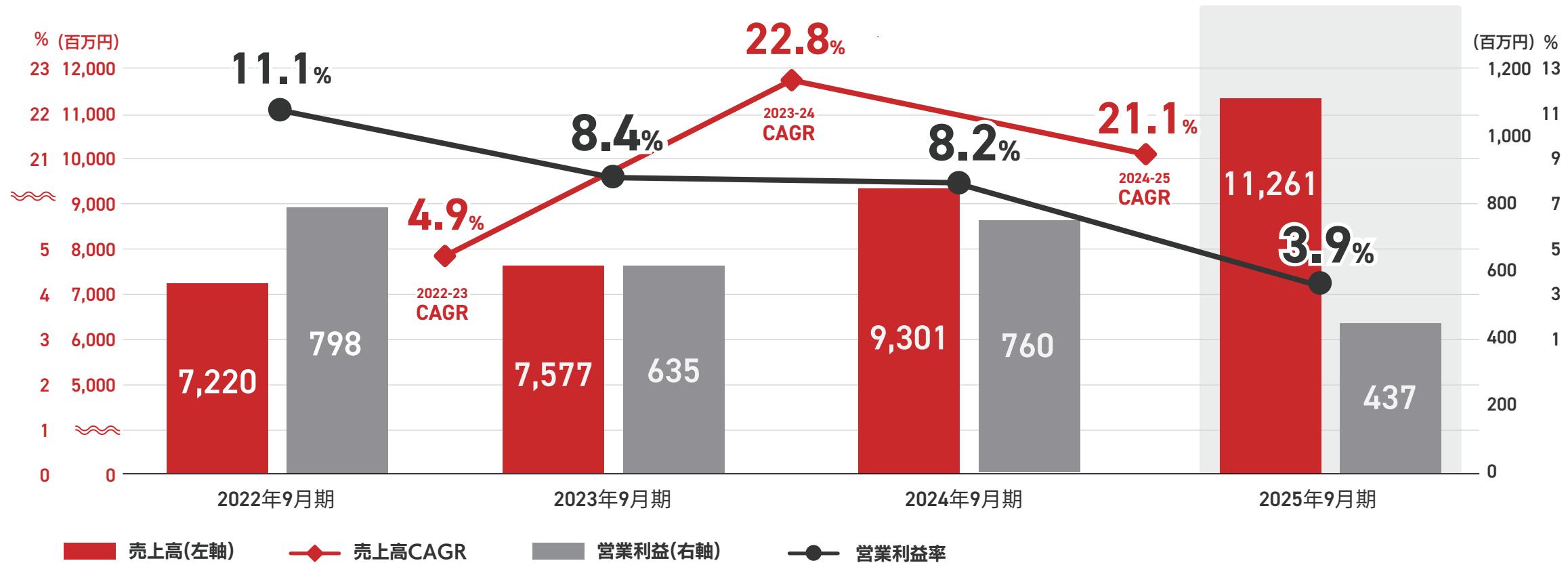
営業利益の四半期推移



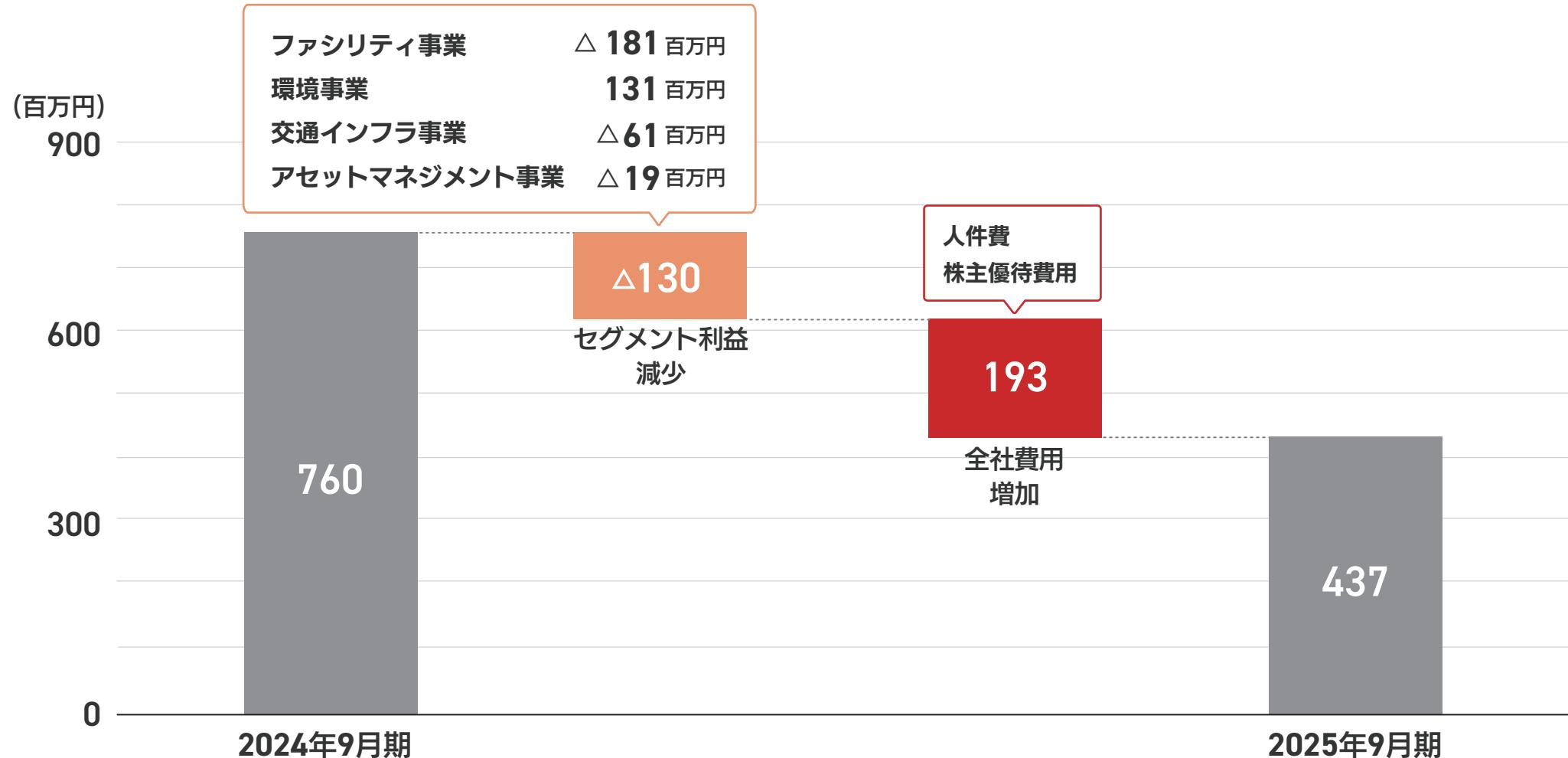
売上高・営業利益の推移

売上高（対前年比増）：M&A 推進により CAGR20%台を 2 期連続推移

営業利益（対前年比減）：主に一過性要因となる新たなグループ会社の決算期変更による業績変動、M&A 仲介費用増加、ファシリティ事業の期ずれ等による減少、成長投資である人材採用によるもの



営業利益の増減要因分析



01

ファシリティ事業の売上高・営業利益

| ファシリティ、公営競技関連、ICTソリューション

売上高

5,194
百万円

113.6%

UP

営業利益

505
百万円

73.6%

DOWN

対前年比※



分析

- ① 空調給排水衛生設備および公営競技案件の期ずれ等による売上高及び営業利益の減少
- ② M&A によりベニクスおよびエコベンが売上・営業利益共に通期寄与により増加

※報告セグメント区分の変更に伴い、ファシリティ事業の前年比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

01

環境事業の売上高・営業利益

| 水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売 上 高

1,307 百万円 125.1 % 

営業利益

294 百万円 181.0 % 

対前年比



分析

- ① 排水処理設備および水循環の大型工事の進行により対前年比で売上・営業利益ともに順調に推移
- ② 産業用太陽光（再生可能エネルギー）発電設備が売上・営業利益ともに順調に推移

01

交通インフラ事業の売上高・営業利益

施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

4,368
百万円

126.1 %

UP

営業利益

717
百万円

92.1 %

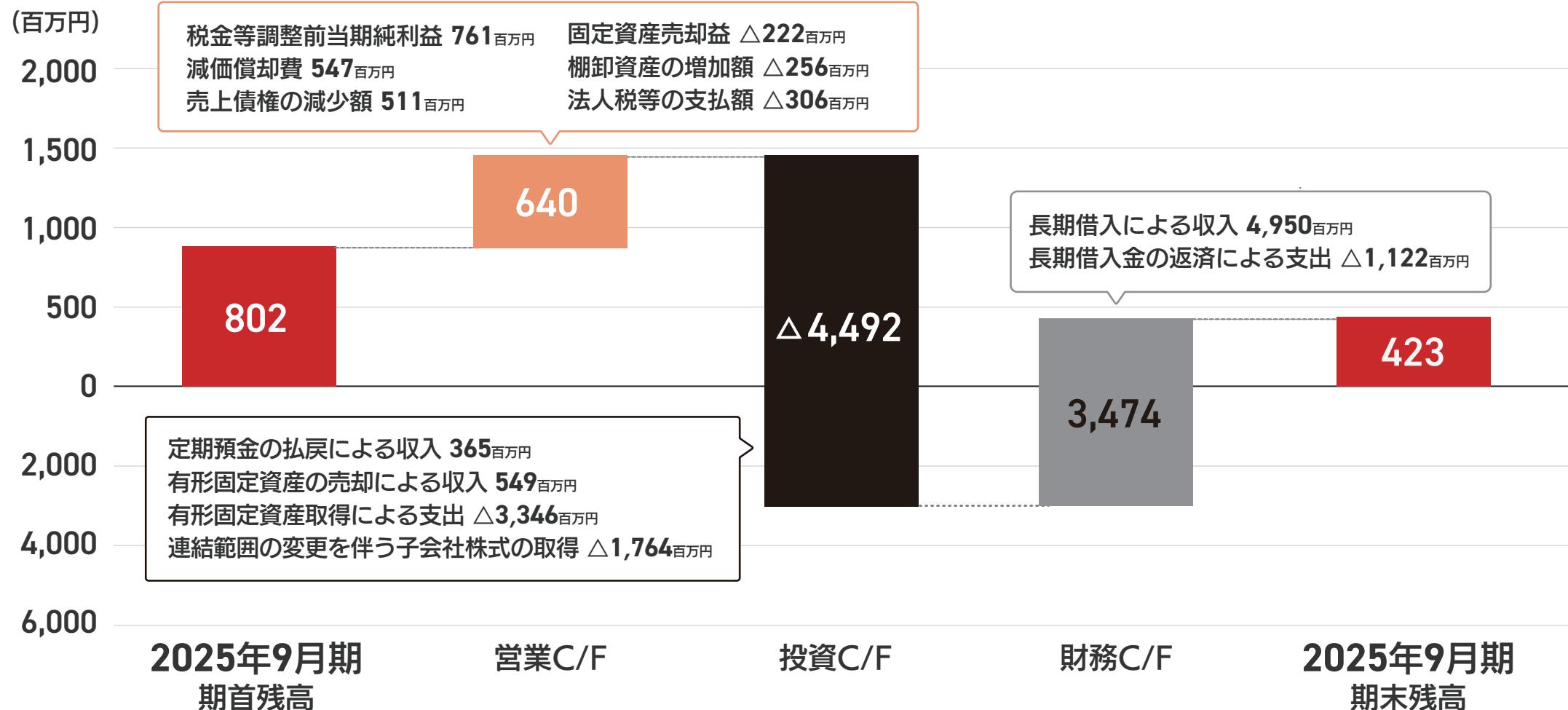
DOWN

対前年比



分析

- ① 高速道路運営事業者からの電気通信設備および構造物の点検・保守並びに
高速道路の維持管理等により売上・営業利益がともに順調に推移
- ② 2025年4月よりグループ化した三進のM&Aによる仲介費用等により営業利益が減少





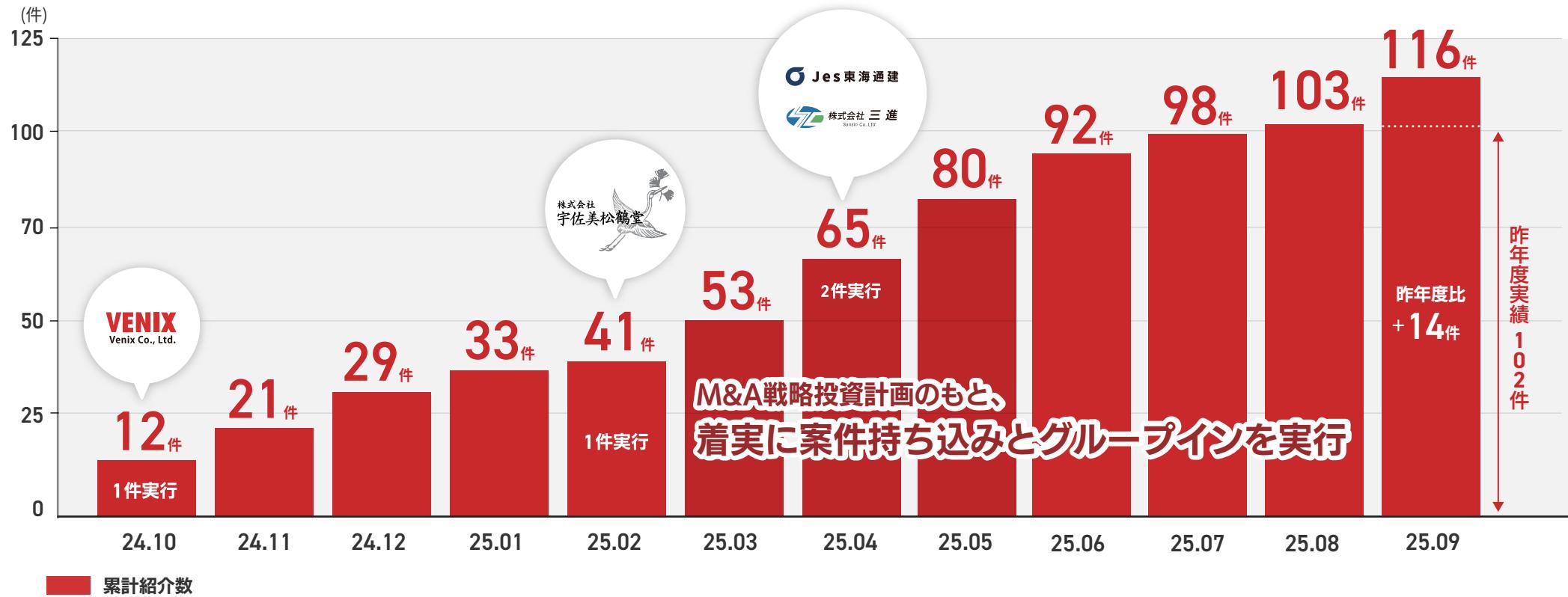
2025年9月期
M&A・PMI
～2025/11/14 時点含む

02

2025年9月期 M&A 案件累積推移

社内 M&A チームを組成し、オーガニック・インオーガニック両面での成長追求。

2025年9月期は **4 件の M&A を実行**。仲介会社や金融機関からの紹介案件も継続獲得中



各セグメントの事業範囲拡充を目的としたM&Aを実施

ファシリティ事業

2024年10月



合板・パネルの加工販売を通じ
製造分野へ進出

- 防炎合板

オリジナル製品である防炎合板「ベニボード」を生産販売

- 特殊型枠の作成

複雑な構造物を作るのに必要な特殊型枠の設計・加工・販売

アセットマネジメント事業

2025年2月



文化財修復事業を通じて300年企業へ

- 文化財修復

国宝や重要文化財を含む掛け軸や絵画等の作品を修復

- 表具制作

巻物、掛け軸、屏風、襖などの表具作品の制作

交通インフラ事業

2025年4月



電気通信設備領域における連携を強化

- 情報通信インフラ領域

ネットワークや携帯電話基地局等の通信キャリア設備の設置工事

- 道路通信設備領域

ETC通信設備、トンネル内通信設備、非常電話設備の設置工事

交通インフラ事業

2025年4月



建設領域の上流域を強化し
広範囲な業務体制を構築

- 建設コンサルタント

事業の企画・立案、調査、計画、測量、設計、施工管理等の上流域を中心に事業展開

- 補償コンサルタント

土地調査、物件調査、事業損失、営業補償、機械工作物等の様々な補償に対応

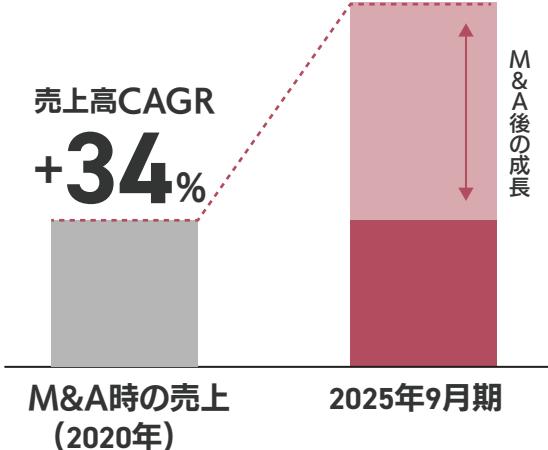
今後も継続的にM&A投資を実施

各グループ会社間のシナジー効果によって、事業領域や顧客基盤の着実な拡大が進み、経営資源の最適化やサービスの高付加価値化も同時に実現。その結果、M&A後には持続的かつ大幅な成長率を達成

JESMS

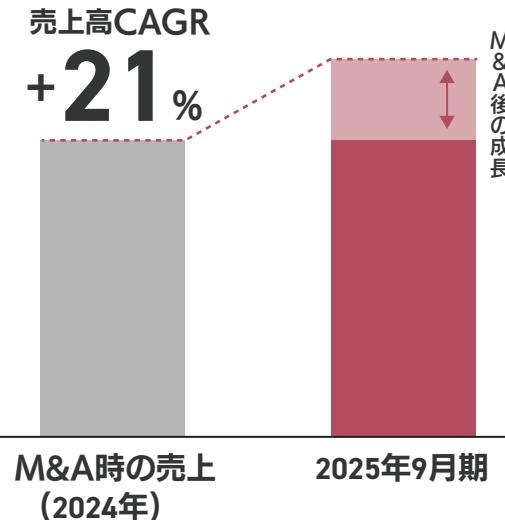
JESモビリティサービス

当社グループとシナジーによって自動車整備工場として新たに認定され、事業範囲・事業規模が拡大し大きく成長



テッククリエイト

当社の既存事業と連携することで、高速道路業界へ市場が拡大および中部地方へエリアが拡大し大きく成長



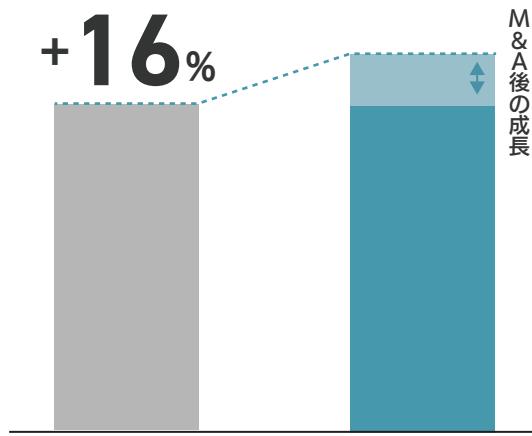
VENIX

Venix Co., Ltd.

当社グループの営業ノウハウによって、防炎合板の販路が関東、中部、関西を中心に全国へ拡大し成長

売上高CAGR

+16%





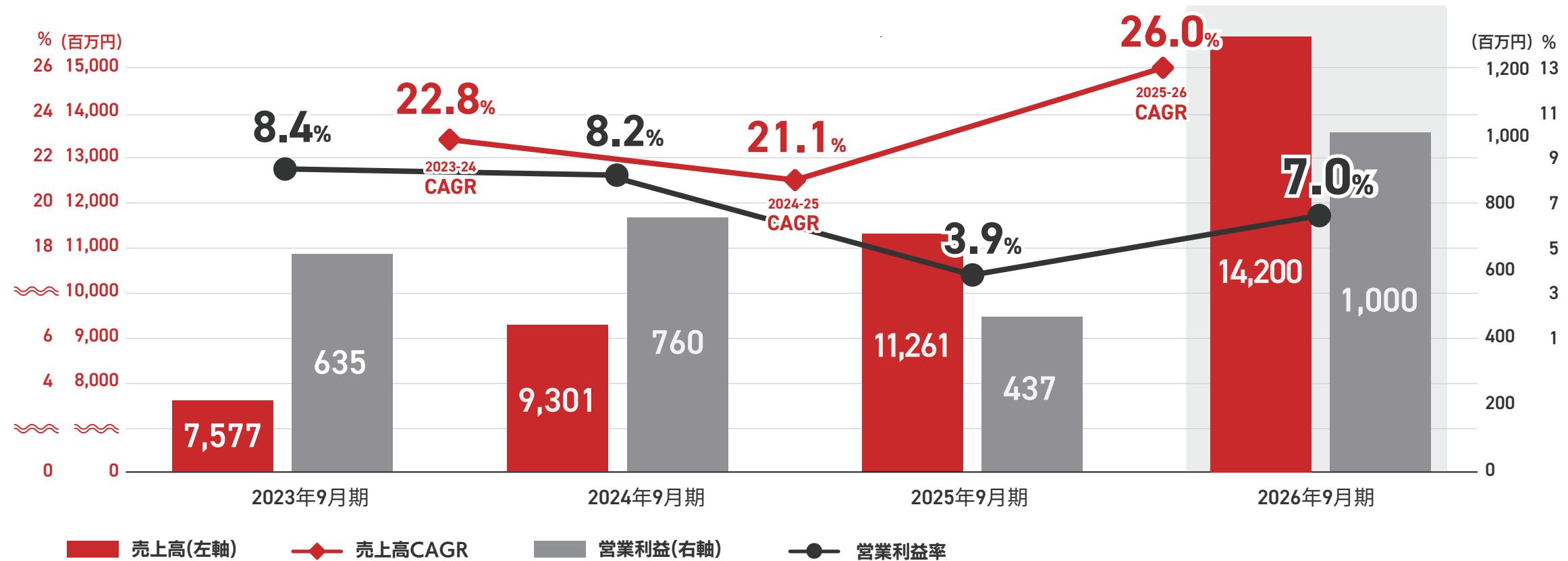
2026 年 9 月期
業績予想

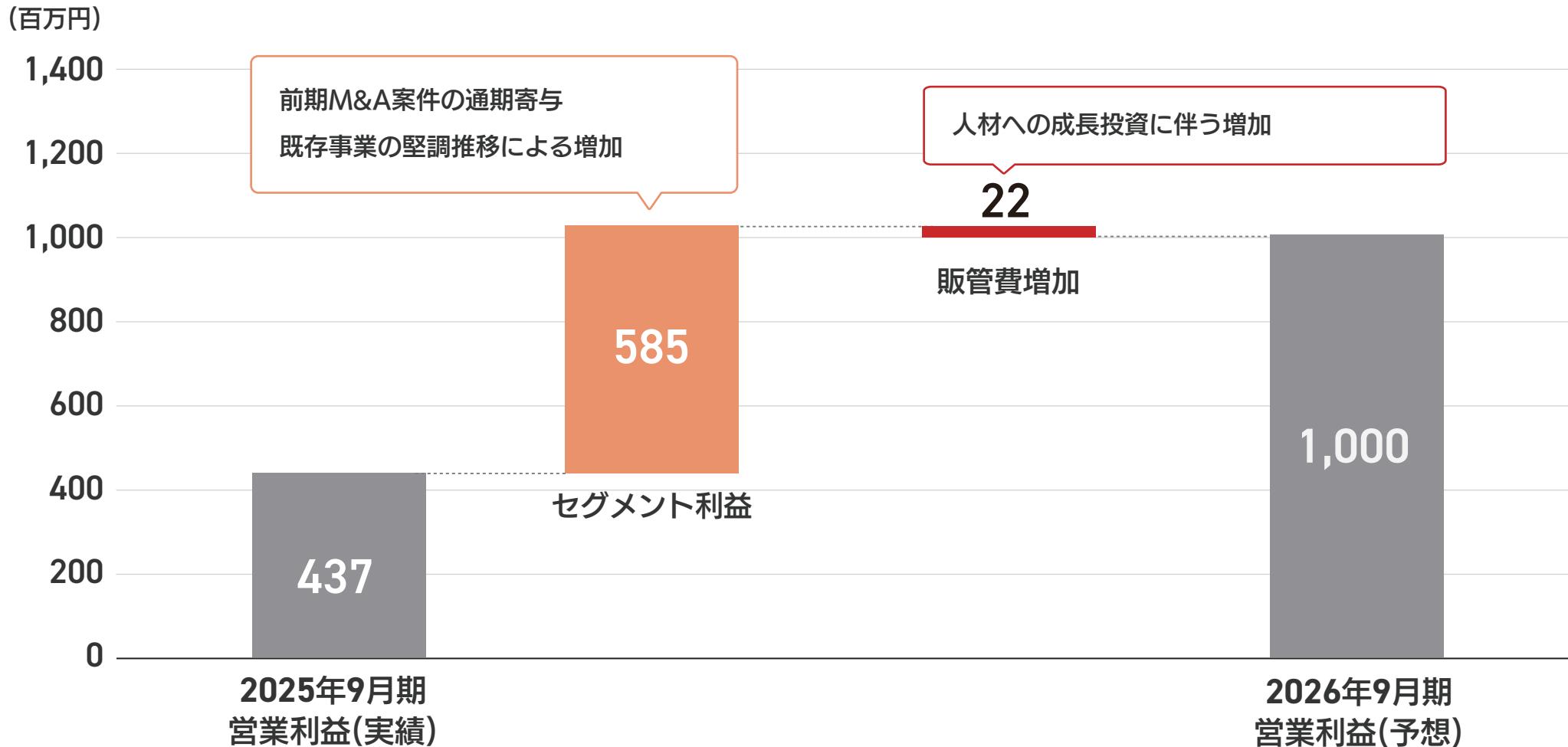
03

- 売上高：前期 M&A の通期寄与による対前年比増加を予想
- 営業利益・経常利益：前期の一過性の減少要因の除外と前期 M&A の通期寄与で対前年比増加を予想
- 親会社株主に帰属する当期純利益：上記の利益増加により対前年比増加を予想

	2025年9月期 実績	2026年9月期 予想	(百万円)
売 上 高	11,261	14,200	対前年比 126.1%
営 業 利 益	437	1,000	228.7%
経 常 利 益	468	1,000	213.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	301	575	190.4%

M&Aの継続的実行と前期M&A案件の通期寄与による売上増加を予想。売上増加による売上総利益増加に対してM&A仲介費用等や人材への成長投資を見込んだうえで営業利益増加を予想。





03

ファシリティ事業の売上高・営業利益予想

| ファシリティ、公営競技関連、ICTソリューション

売上高

6,182 百万円 **119.0%**  UP

営業利益

583 百万円 **115.4%**  UP

対前年比※



分析

- ① 防炎合板・各種合板の加工製造・販売に関わる事業の増加
- ② 全熱交換機、空調給排水衛生設備の設計・施工・保守に関わる事業の増加
- ③ 公営競技案件の受注増加



今後の取り組み

- ① 2025年10月よりグループ会社統合したJESファシリティーズ(株)により、空調給排水設備事業の更なるシナジー効果の発揮
- ② 公営競技案件の営業体制強化

03

環境事業の売上高・営業利益予想

| 水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売 上 高

1,416 百万円 **108.4%**  UP

営業利益

264 百万円 **89.9%**  DOWN

対前年比



分析

- ① アクアリウムおよび排水浄化処理設備並びに産業用太陽光発電設備などの売上は比較的堅調
- ② 各事業における受注案件により営業利益減少



今後の取り組み

- ① 環境事業に関する新たな事業を拡充
- ② 人員拡充による施工体制の強化

03

交通インフラ事業の売上高・営業利益予想

施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

5,881 百万円 **134.6%**  UP

営業利益

1,097 百万円 **152.8%**  UP

対前年比



分析

- ① 新規 M&A による(株)三進及びJes 東海通建(株)の売上高・営業利益の通期寄与による増加
- ② エンジニアリング部門の受注増による売上高・営業利益の増加



今後の取り組み

- ① Jes 東海通建および三進も含めたグループシナジーの発揮
- ② 神奈川県の興電社、石川県のテッククリエイトの両拠点を活かしエリア拡大を視野
- ③ 技術者の獲得と教育によりエンジニアリングサービス強化

2023 - 2025
中期経営計画の
振り返り

04

プラットフォーム構築施策の着実な遂行

「事業ポートフォリオの強化」および「エンジニアの強化・増員」の実現に向け、2つの戦略を着実に遂行しました。各事業分野のポジショニングと方向性を明確にし、M&Aの積極的な検討を進めました。

中期経営計画の目標達成

2025年の売上高目標である88億円を大きく上回り、数値目標を達成しました。高い技術力を持つエンジニアの採用・教育に注力するとともに、難易度の高い資格保有者の増員も、M&Aおよび社員教育の推進により着実に実現しています。

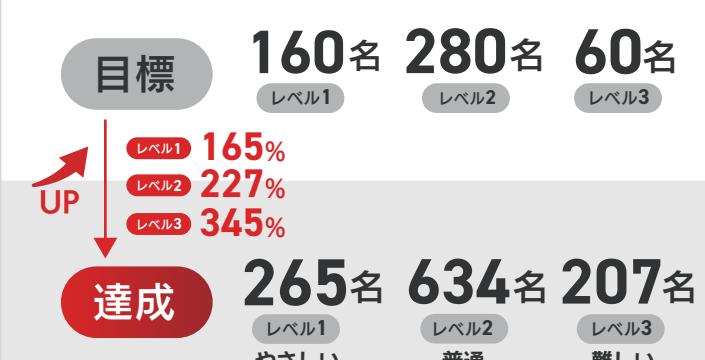
売上高



M&A戦略投資

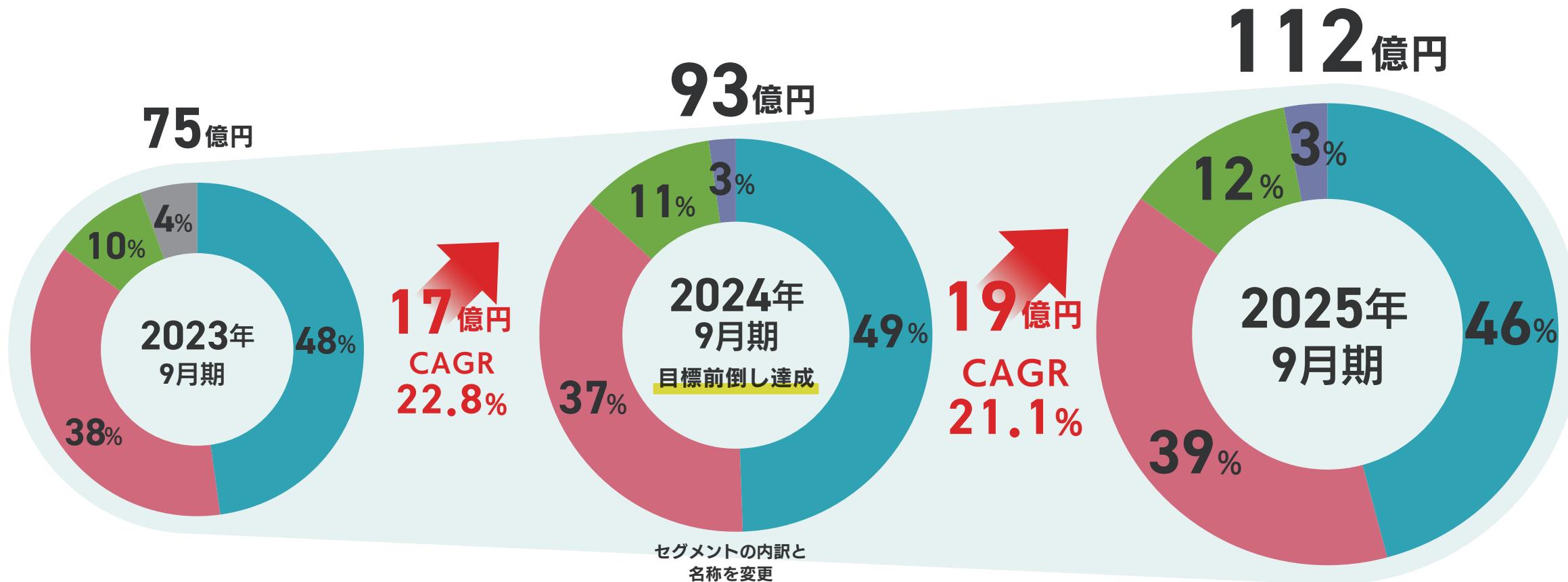


資格保有者数



既存事業とM&Aによるシナジー効果により、目標の88億円を大きく上回る112億円の売上高を達成

■ ファシリティ ■ 交通インフラ ■ 環境 ■ アセットマネジメント ■ その他



ファシリティ事業

注力分野 積極的に成長投資を実施し、事業拡大を狙う分野

電気・空調衛生設備

技術者の増員、高収益案件の受注、M&Aによる地域拡大

深化分野 効率化を図り、収益性を高める分野

公営競技

施設全体運営の包括案件の獲得、ネット投票の拡大

電気・空調衛生設備

- 技術者の増員
 - 高収益案件の受注
 - M&Aによる地域拡大
- グループ採用・育成およびM&Aを通じた技術者の増員
学校などの大規模工事で高収益を確保
東海エリアを中心に関東をはじめ全国へ営業展開

公営競技

- 包括案件の獲得
 - ネット投票の拡大
- 施設全体の運営を担う包括案件を獲得し、業務範囲拡大を推進
ネット投票需要の拡大を踏まえたAI予想サービスの積極展開

交通インフラ事業

注力分野 積極的に成長投資を実施し、事業拡大を狙う分野

エンジニアリングサービス

技術者の増員と教育、AI・IOT等の次世代領域に注力
高速道路運営事業者における新規案件獲得

深化分野 効率化を図り、収益性を高める分野

メンテナンスサービス

技術者の増員と教育、協力会社の割合を減らし高収益を実現

エンジニアリングサービス

- 技術者の増員と教育
 - 次世代領域に注力
 - 高速道路運営事業者 新規案件
- グループ採用・育成およびM&Aを通じた技術者の増員
業務効率化に向けたデジタル化およびIOT技術導入に向けた研究開発の推進
高速道路運営事業者の新規案件獲得による売上拡大

メンテナンスサービス

- 技術者の増員と教育
 - 高収益性の実現
- グループ採用・育成およびM&Aを通じた技術者の増員
技術者増員による案件を自社完結化できる体制構築に向けた推進

環境

注力分野 積極的に成長投資を実施し、事業拡大を狙う分野

産業用太陽光発電設備

工場の自家消費向け案件を着実に受注、
技術者の増員と教育、営業力・提案力・実行力の強化

注力分野 積極的に成長投資を実施し、事業拡大を狙う分野

アクアリウム(水族館等)

施設運営へ業務の拡大、給排水設備等の提供

産業用太陽光発電設備

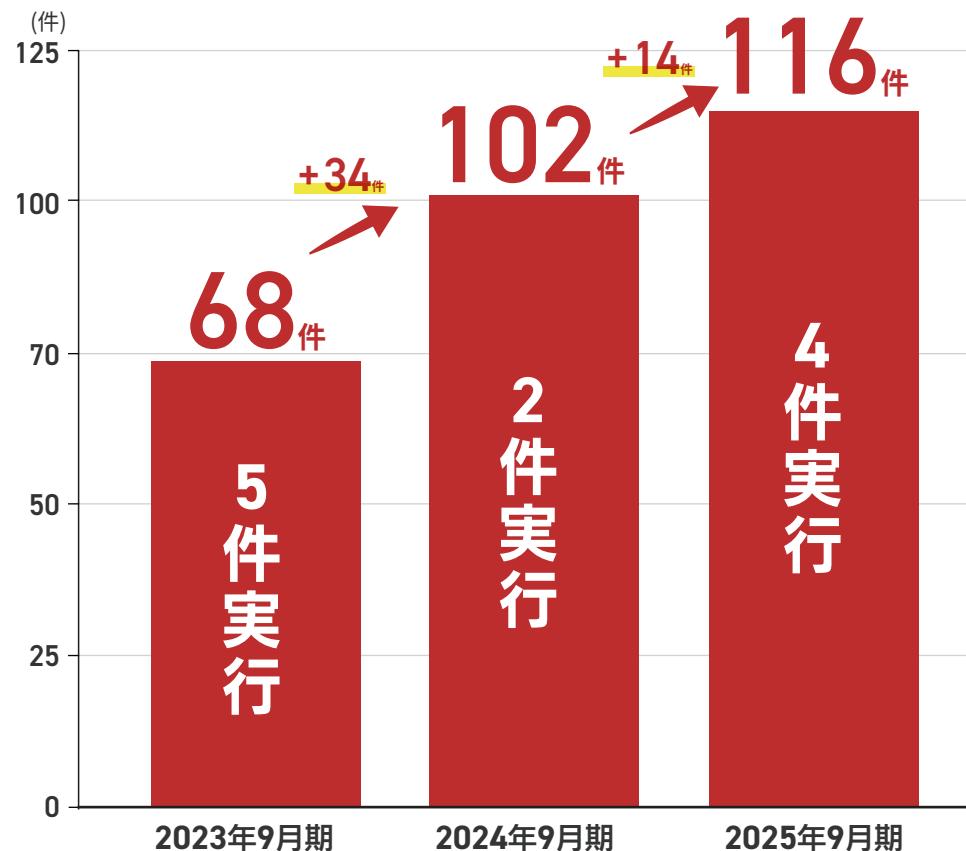
- 自家消費向け案件
 - 技術者の増員と教育
 - 営業力等の強化
- 工場等の自家消費向け案件およびリパワリング案件の営業推進
グループ採用および育成を通じた技術者の増員
グループ営業戦略室の新設による営業力強化

アクアリウム(水族館等)

- 施設運営へ業務拡大
 - 給排水設備等の提供
- 水槽製造から企画運営までを包括的に受注できる体制の構築
給排水設備等の領域まで業務を拡大

2023-2025 中期経営計画 M&A 戰略投資の累計件数

社内にM&Aチームを組成し、累計紹介数を伸ばすことで、期間内に**11件のM&Aを実行**。のれんが多額に発生しないよう慎重なM&A推進を図り、期間内での目標であった30～50億円を達成



目標 **30～50** 億円 達成 **38** 億円

2023年9月期



2024年9月期

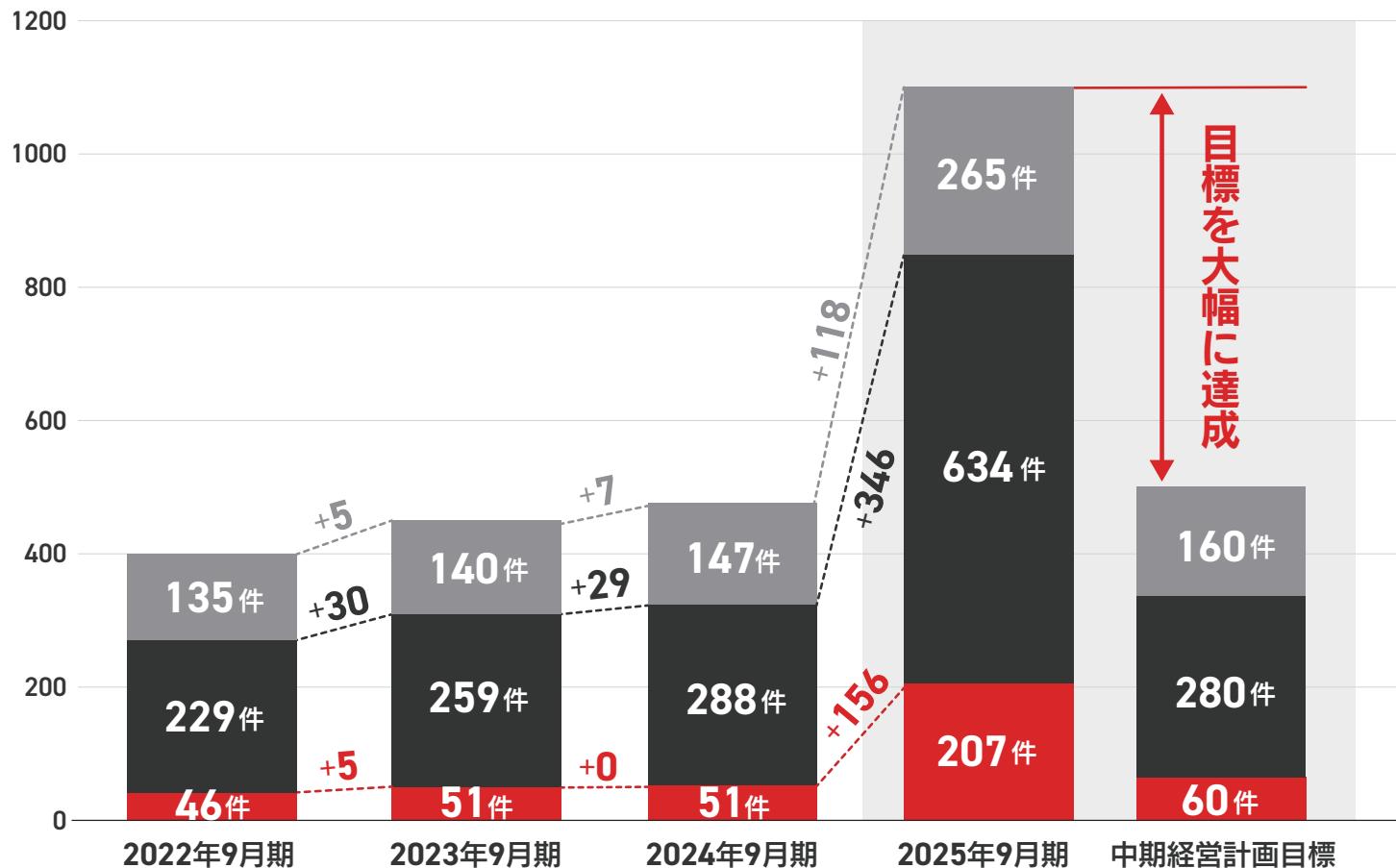


2025年9月期

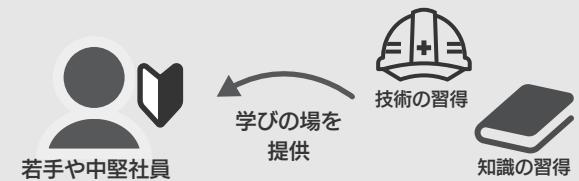


※ノンネーム情報の検討は上記件数に含めておりません

■ レベル1 やさしい ■ レベル2 普通 ■ レベル3 難しい

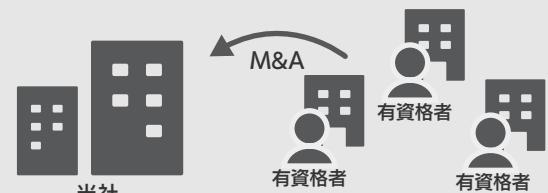


達成の要因1 JESアカデミー



JESアカデミーを通じた
人材育成体制の充実

達成の要因2 M&A



高難度資格保有者を抱える
企業を対象にM&Aを実施



トピックス・
サステナビリティ
～2025/11/14 時点含む

05

05 JESファシリティーズの始動

今回 組織体制の再編

2025年10月1日付で、当社のグループ会社である村川設備工業株の商号変更を実施。当社のファシリティ事業における空調衛生サービス部が行う電気・空調衛生設備に関する事業を吸収分割



今後の展開

ファシリティ事業のグループ集約を段階的に推進
公営設備領域のサービスプラットフォーマーへ



JESファシリティーズ(株)

JESG VISION

2030

公共設備領域の サービスプラット フォーマー

05

M&A (株)カムラ技建グループ化

道路フェンス・道路ガードレールの設置工事を手がける(株)カムラ技建をグループ化 (2025年10月)。
交通インフラ事業のトータルサービスをニッチ市場にも拡大し、組織力の最大化を図る

2つの主力事業

カムラ技建の強み

当社とのシナジー

kamura
giken道路フェンス
設置工事道路ガードレール
設置工事

ニッチ市場

フェンスやガード
レール分野での
競合他社の少なさ

独自の採算管理

豊富な実績と専門知
識に基づき、高精度な
見積りを算出

工事の内製化

自社内で業務遂行を
基本線としており
信頼を得ている
JESG × kamura
gikenグループ
一括採用

人材不足の解消

組織力を
最大化事業範囲の
拡大受注案件の
拡大受注案件の
共有エンジニア
エコシステム

05

アクアリウム 新規案件の受注 広島もとまち水族館



広島もとまち水族館
AQUA ALIVE MUSEUM

2025年10月31日オープンの「広島もとまち水族館」において、水槽工事や濾過設備などのバックヤード設備の施工を受注いたしました。当社のアクアリウム事業は、全国各地へ施工範囲を広げており、各地の水族館との信頼関係を着実に築きながら、今後も安全で高品質な施工を提供し、より多くの施設に貢献してまいります。



05

リパワリング案件の受注数増加

産業用太陽光発電設備のリパワリング工事の需要が高まる中、当社でも過去実績と比較して着実に売上を伸ばしており、今後も市場拡大が続くと見込んだ受注拡大に向けての取り組み強化

リパワリング工事の需要拡大



設備の経年劣化

FIT制度初期に導入された設備の多くが10年以上経過し、パネル・パワコンの交換需要が急増。



売電収益の最大化

最新機器への更新により発電効率が向上し、残存FIT期間や自家消費型への移行で収益改善が可能。



制度・環境要請への適合

環境配慮や安定供給の観点から再エネ活用が求められ、法令対応や安全性確保のための更新が促進。

■ リパワリング工事 ■ その他

2023年9月期

2%

98%

2024年9月期

11%

89%

2025年9月期

24%

76%

05

地域密着型スポーツ振興に向けた協賛契約締結

地域スポーツの未来を共に創る 協賛契約を締結。

当社および株式会社AVANTIAは、公益財団法人愛知県スポーツ協会と2025年8月29日（金）付で協賛契約を締結し、2025年9月30日（火）に手交式を実施しました。本協賛契約は、地域に根ざしたスポーツ文化の発展と、未来を担う次世代アスリートの育成支援を目的としたものであり、両社は愛知県スポーツ協会が推進する各種活動に賛同し、競技力向上のみならず、子どもたちの健全な成長や地域コミュニティの活性化につながる取り組みを支援してまいります。

AVANTIA × 愛知県スポーツ協会 × JESG



05

障がい者雇用 保育園と当社従業員を対象としたイベントを開催

地域に寄り添い、
多様な人が輝く職場づくり。

株式会社オゼキが推進する障がい者雇用促進の一環である畑栽培に、当社の障がい者雇用で勤務する従業員も参加し、社会福祉法人瀬尻福祉会 瀬尻保育園を対象に芋ほり体験を実施いたしました。併せて、当社従業員およびそのご家族を対象とした農業体験も実施し、サツマイモ・枝豆・里芋の収穫を行いました。当日は多くの従業員とご家族にご参加いただき、障がい者雇用への理解を深める有意義な機会となりました。今後も当社では、地域との連携および障がい者雇用の推進に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。



05

日経ニューオフィス賞 受賞

JES一宮ビルが
日経ニューオフィス賞を受賞。

2025年8月5日、当社本社ビル「JES一宮ビル」が、応募総数148件の中から選出され、「第38回日経ニューオフィス賞奨励賞」を受賞いたしました。日経ニューオフィス賞は、1988年に「創意と工夫を凝らしたオフィスの普及・促進」を目的として創設された表彰制度です。このたびは、植物を取り入れた働きやすい環境づくりが高く評価され、受賞に至りました。今後も地域活性化に貢献するビルとして、さらなる環境整備と各種施策の推進に努めてまいります。



05

名証IRエキスポ 日経・東証IRフェアへの出展

投資家に向けた 情報発信の場の創出。

2025年9月5日・6日に愛知県の吹上ホールで開催された「名証IRエキスポ2025」、および9月26日・27日に東京ビッグサイトで開催された「日経・東証IRフェア」に出展いたしました。当日は個別説明会およびミニ説明会を実施し、当社の事業内容や今後の成長戦略について直接ご説明することで、多くの個人投資家の皆様に当社をより深く知っていただく貴重な機会となりました。今後もこのようなIRイベントへの積極的な参加を通じて、投資家の皆様との対話を一層強化するとともに、当社の認知度および企業価値の向上を図ってまいります。



日経・東証IRフェアの様子

05

NewsWeekへの掲載

海外市場における 認知拡大に向けた活動。

アメリカの週刊誌 NewsWeek に、当社代表取締役社長・松島穰のインタビュー記事が掲載されました。NewsWeek は1933年に創刊され、政治・経済・社会・国際情勢・文化など幅広い分野を扱う総合ニュース誌として、長い歴史を有しています。今回の掲載は、当社事業の海外展開に向けた知名度向上に大きく寄与するものであり、大変喜ばしいことです。記事はWEB版と紙媒体の両方でご覧いただけます。WEB版は右下のQRコードよりご確認いただけますので、ぜひご覧ください。





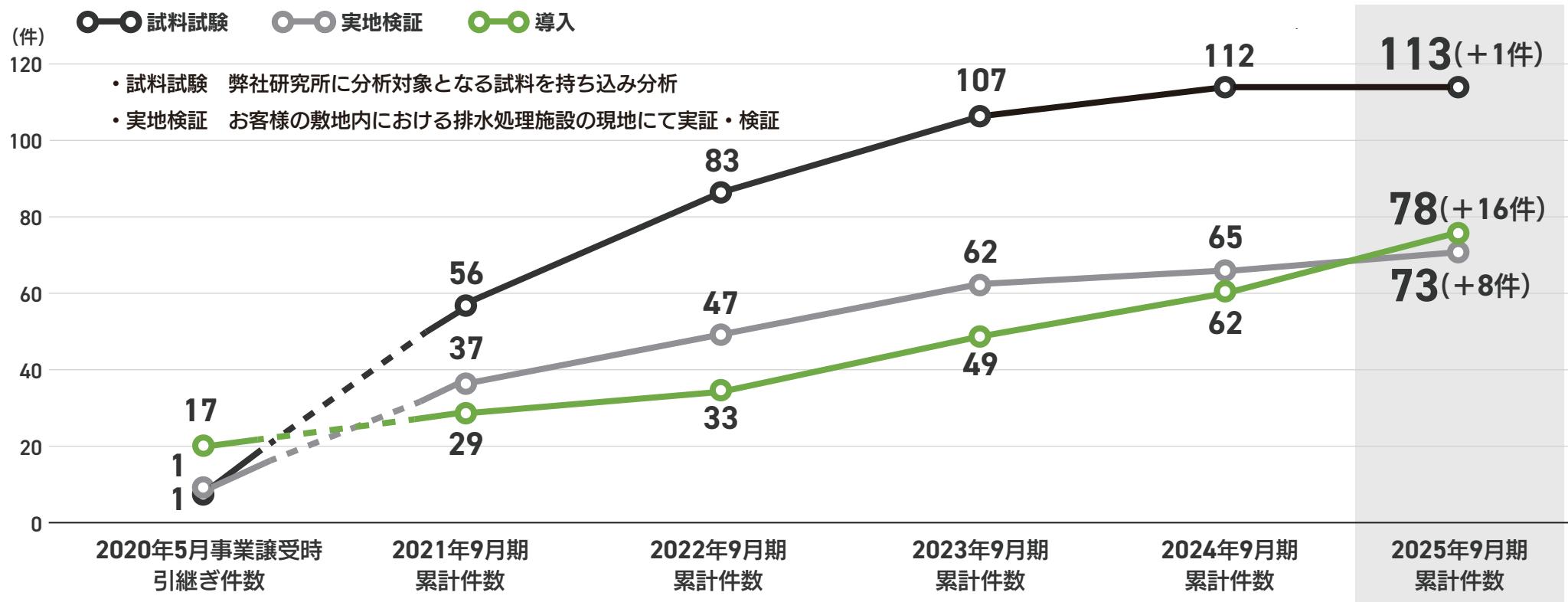
事業開発・ 研究開発の状況

06

06

排水処理剤、試料試験・実地検証の件数推移

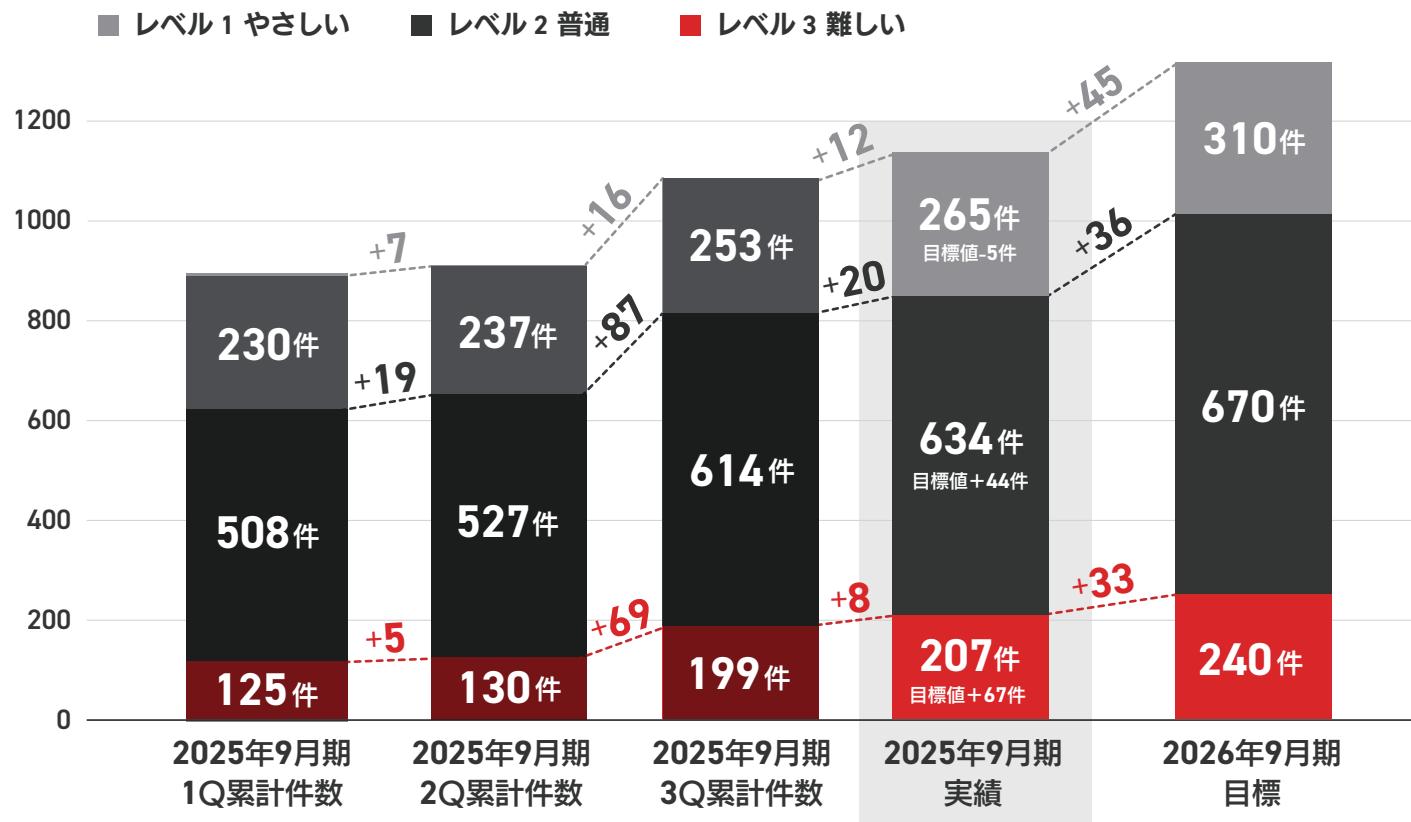
継続的な営業活動の推進により実地検証および導入の件数が拡大



06

JES グループ累計 資格取得数

グループ全体での資格取得推進を図るとともに、JES アカデミーを活用した実践的な教育に尽力し、後継者の育成とスキル向上を通じて、組織全体の発展に寄与



■ 2025年9月期

レベル1 265件 レベル2 634件 レベル3 207件

※なお、取得難易度に応じてレベル区分をしております。

累計件数

1,106 件

2025 年 9 月期
株式情報・株主還元

07

目的

投資単位の水準を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上および投資家層の更なる拡大を図ることを目的として株式分割を実施（完了）

| 分割割合 1 株 → 3 株

普通株式1株につき3株の割合をもって分割



| 基準日

2025年3月31日

| 効力発生日

2025年4月1日

2026年9月期は、年間配当を **18円/株**へ増配予定。

上場以来継続して **4期連続増配**。

第2四半期 中間配当を9円/株、期末配当を9円/株とし、

安定性・継続性のある累進配当に加え、**利回りを重視した株主優待制度**も継続して実施

2026年9月期（予想）

中間配当 9.00円/株

期末配当 9.00円/株

年間配当 18.00円/株

年間株主優待 30,000円
(クオカード)

2025年9月期

中間配当 8.66円/株 ※1

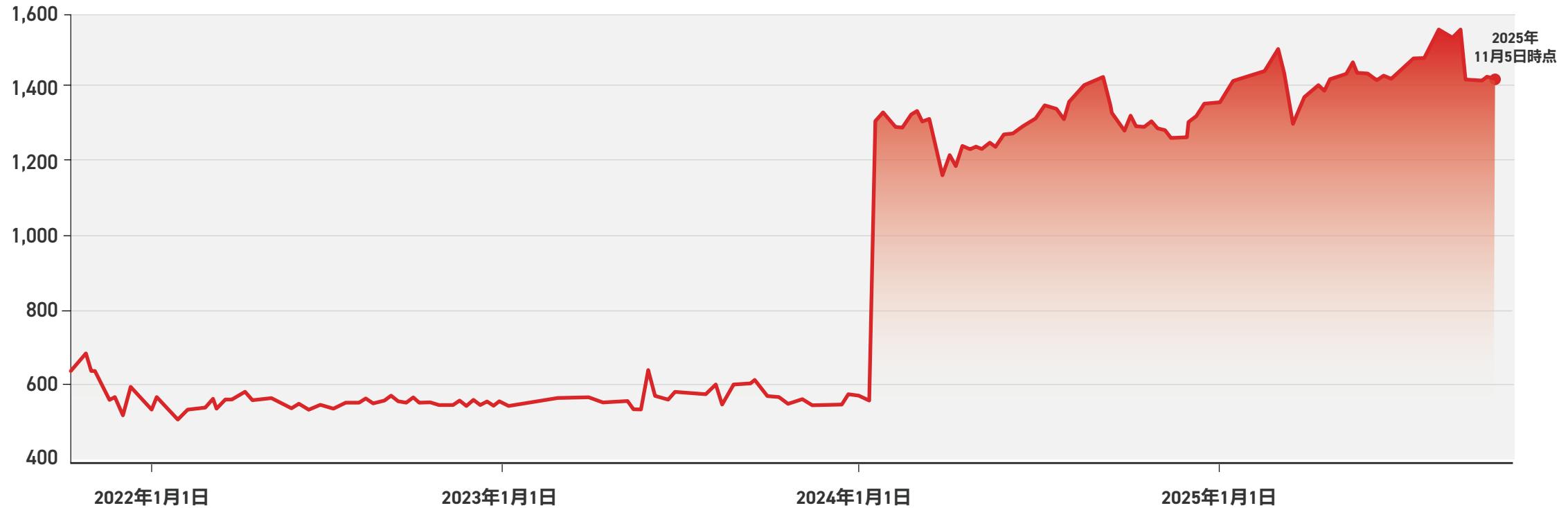
期末配当 9.00円/株

年間配当 17.66円/株

年間株主優待 30,000円
(クオカード)

※1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

株価^{*1}は約3年間で約2.3倍^{*2}に上昇。株主優待により株価急騰するも、その後も堅調に推移



*1 2025年4月1日をもって、当社株式を1株につき3株の割合で分割しております。当該分割後を基準に算出した数値を表示しております。

*2 上場時（2021年10月8日）と資料作成時点（2025年11月5日）の終値を比較しています。

役員紹介

08



社会・環境と共に発展できる
「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、
多様化する社会のニーズに応え続けるために、
より一層の企業価値向上に努め、社会に必要とされ続ける
「300年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長

松島 篤



松島 穩
代表取締役社長



中村 成一
専務取締役
交通インフラ事業担当



奥村 泰典
常務取締役
ファシリティ事業担当



内田 敦
取締役
グループ会社事業推進担当
交通インフラ事業担当



稻生 篤彦
取締役
管理本部担当



瀧本 裕二
取締役
環境事業担当



杉戸 俊之
独立社外取締役



田野 好彦
独立社外取締役



伊東 史子
独立社外取締役



龜山 直人
取締役常勤監査等委員



加納 正二
独立社外取締役監査等委員



南 善隆
独立社外取締役監査等委員

会社概要

09

会社名 日本エコシステム株式会社

会社所在地 愛知県一宮市本町 2 丁目 2 番 2 号
JES 一宮ビル 11F

代表者 代表取締役社長 松島穰

事業内容

- ファシリティ事業
防炎合板の製造販売、空調給排水衛生設備の施工・管理、
公営競技場におけるトータリゼータシステムの設計・製造・販売・
機器設置・メンテナンス、AI・ICT ソリューション
- 環境事業
排水浄化処理および水循環・アクアリウムに関する事業、
再生可能エネルギー発電設備の開発・販売・設計・施工
- 交通インフラ事業
高速道路を中心とした電気通信設備・ETC保守、橋梁・構造物の
点検、道路・公共設備の照明灯工事、道路等の維持修繕工事

資本金 1,005,097,563 円
※25/9/30 時点

決算期 9 月

発行株式数 8,713,200 株
※25/9/30 時点

従業員数 連結 661 名 (平均臨時雇用人員含む)
※25/9/30 時点

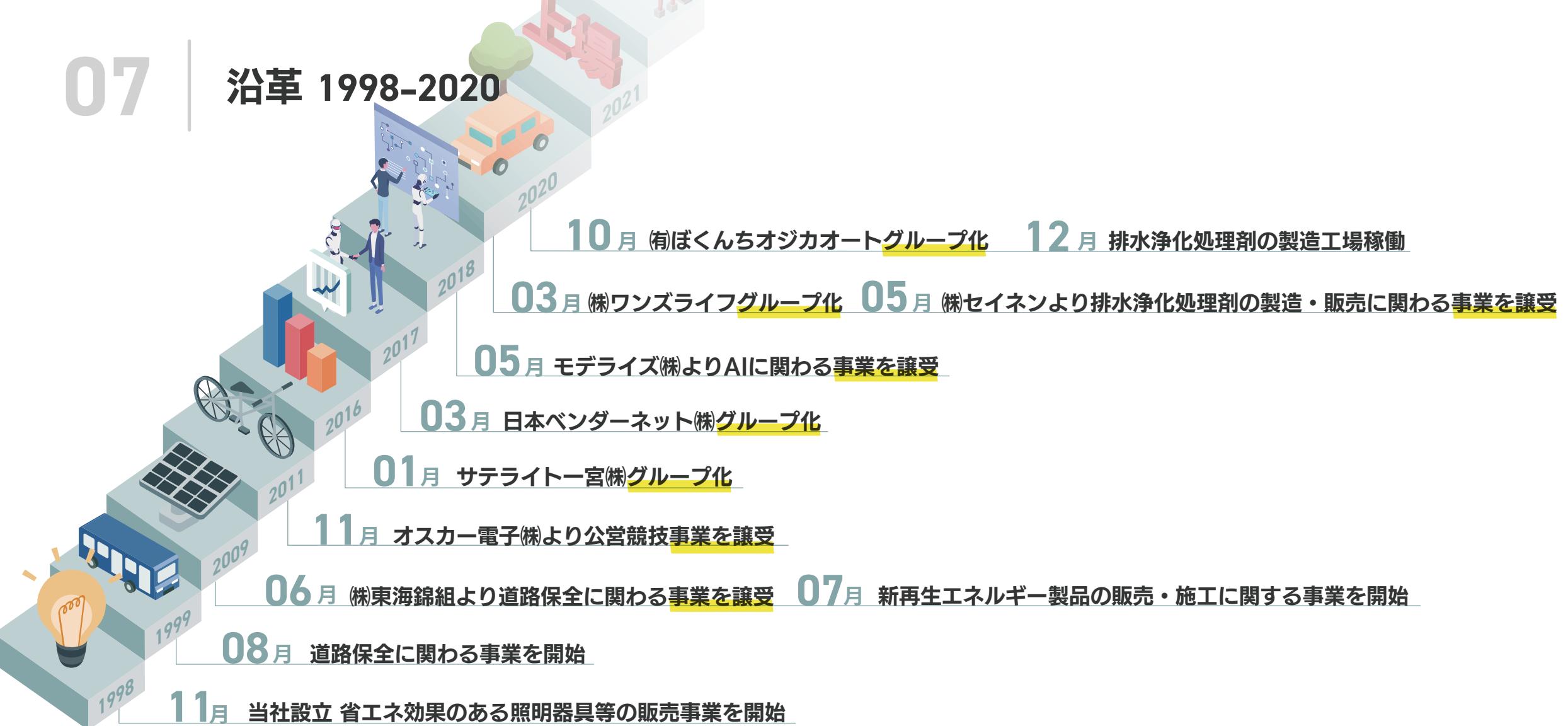
監査法人 有限責任中部総合監査法人

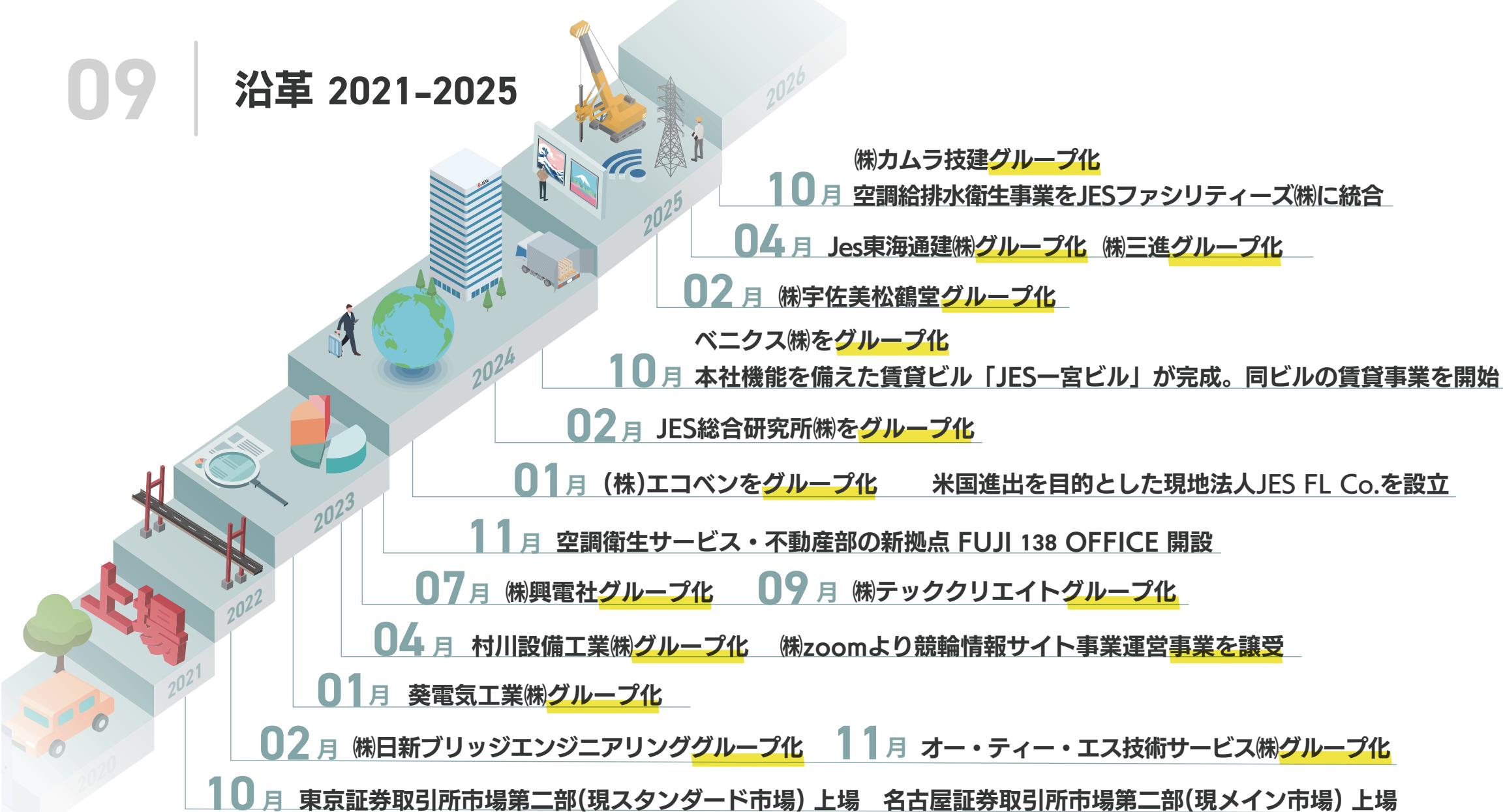
上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
名古屋証券取引所メイン市場



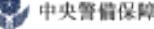


沿革 1998-2020





上場前 9 件

1 (株)東海綿組 2009年6月 事業譲受	2 オスカー電子(株) 2011年11月 事業譲受	3  NSB (現:OTS(株)) 2016年1月 グループ化(100%)
4  日本ベンダーネット 2017年3月 グループ化(100%)	5  中央警備保障 2017年3月 グループ化(100%)	6  モデライズ(株) 2018年5月 事業譲受
7  one's life 2020年3月 グループ化(100%)	8  Selinen 2020年5月 事業譲受	9  BOKUCHI オジカオート (現:JESモビリティサービス(株)) 2020年3月 グループ化(100%)

上場後 14 件

10  OTS 2022年2月 グループ化(100%)	11  Kou-Den-Sya 2022年11月 グループ化(100%)	12  葵電気工業 2023年1月 グループ化(100%)	13  村川設備工業 2023年4月 グループ化(100%)
15  Tackクリエイト 2023年7月 グループ化(100%)	16  ECOVEN 2023年9月 グループ化(100%)	17  JES 2024年1月 グループ化(100%)	18  VENIX 2024年2月 グループ化(100%)
20  Jes 東海通建 2025年2月 グループ化(100%)	21  三進 2025年4月 グループ化(100%)	22  Kamura Giken 2025年4月 グループ化(100%)	23  Kamura Giken 2025年10月 グループ化(100%)

事業譲受

グループ化

中部地方を起点に
全国各地へ広がる力

中部

当社

11 拠点グループ
36 拠点

九州

当社

1 拠点近畿
グループ
2 拠点

宇佐美松鶴堂 本社

北海道

グループ

1 拠点

日新ブリッジエンジニアリング 本社

関東

当社

1 拠点

興電社 本社

中国・四国

グループ

5 拠点

日本ベンダーネット 本社

グループ

3 拠点

JES FL Co. 本社

海外拠点

[JESグループ共通社是]

み こう どう
未 晃 道

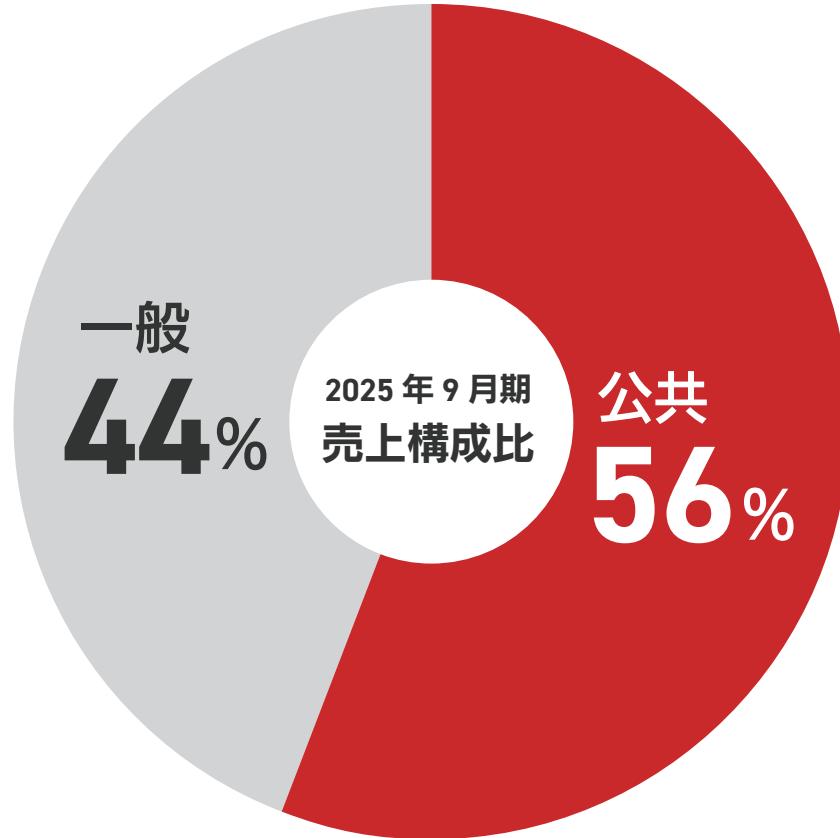
未来の地球を照らし、輝き続ける事業を創造します

[経営理念]

事業を通じ、物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の維持にも貢献します。

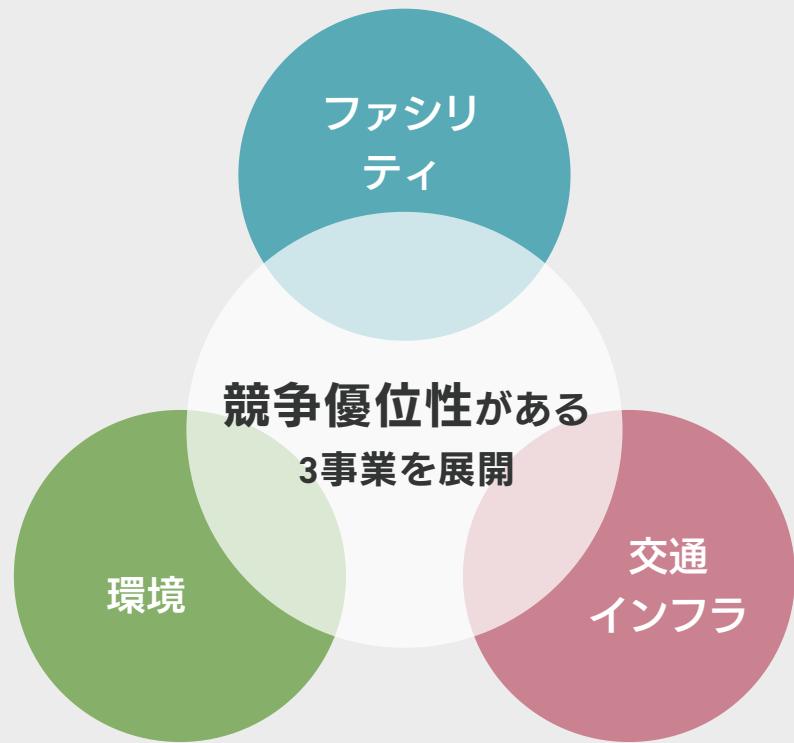


社会の課題を解決し、必要とされ続ける
300年企業を創造



BtoP (Public) を中心とした
安定性の高い領域で事業展開

当社グループは競争優位性がある
ファシリティ・環境・交通インフラの
3セグメントより構成



| ファシリティ

企業や自治体が使用する設備(空調給排水・電気・機器・木材等)といったハード面から公営競技運営・イベント企画・警備・AI・ICT等のソフト面まで幅広くサポート。

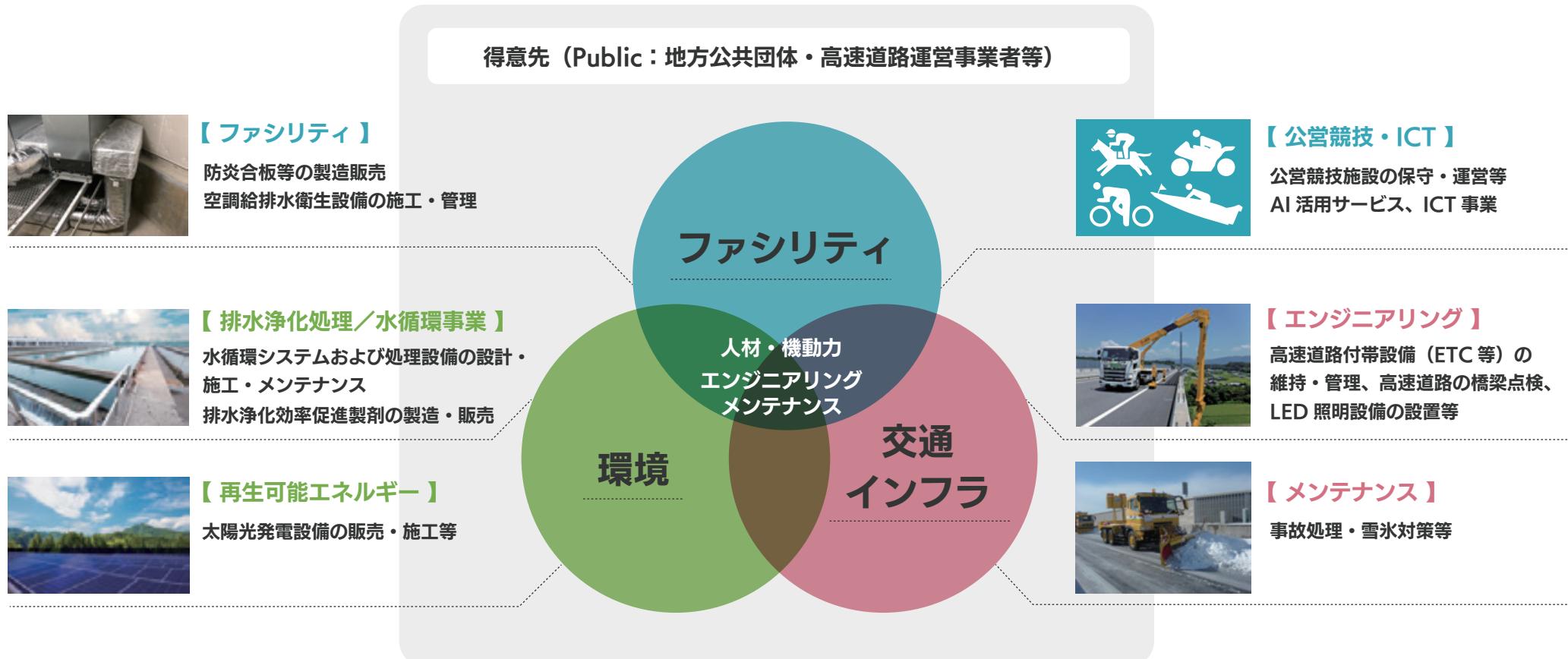
| 環境

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。
長期成長分野の事業として育成中。

| 交通インフラ

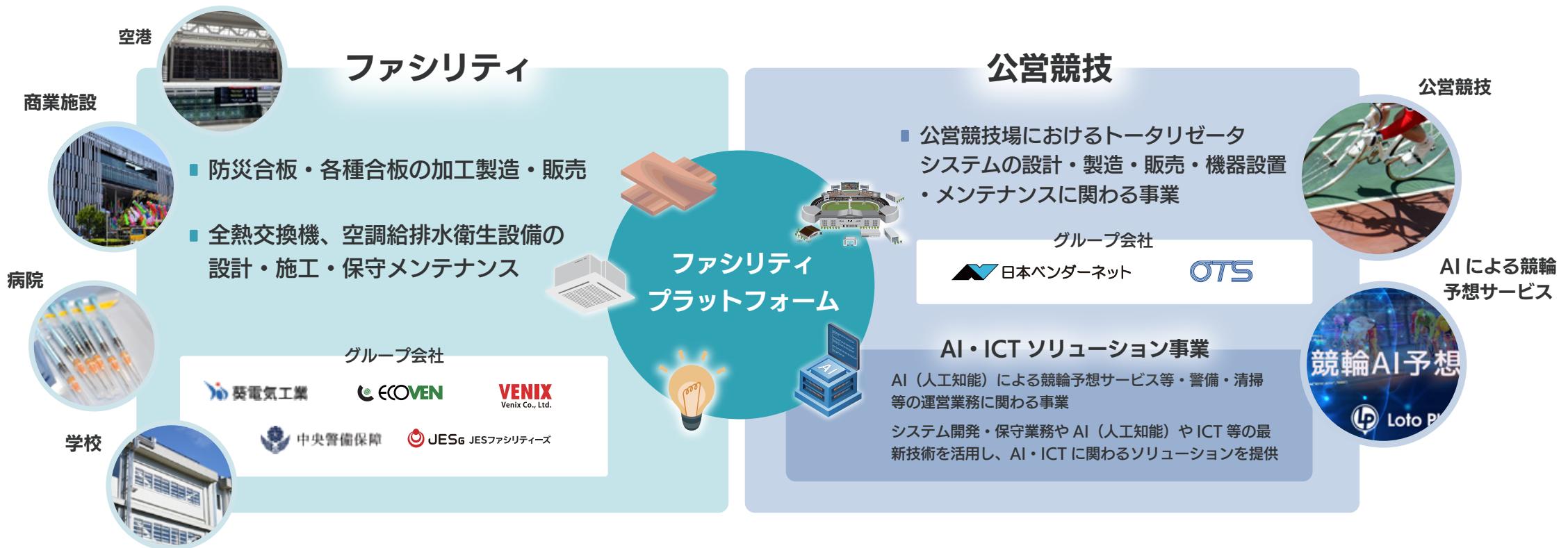
主に自治体・中部エリア高速道路運営事業者からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け **「社会インフラサービス企業」** として事業展開



	ファシリティ	環境	交通 インフラ	アセット マネジメント
注力分野 積極的に成長投資を実施し、 事業拡大を狙う分野	 ファシリティ	 産業用太陽光発電設備 アクアリウム	 エンジニアリングサービス	
深化分野 効率化を図り、 収益性を高める分野	 公営競技		 メンテナンスサービス	 不動産
長期成長分野 長期的な成長を目指し、 研究開発の実施や、 新しいビジネスモデルを開拓する分野	 AI・ICT ソリューション	 水循環システム		

- ファシリティ事業では、地域社会の快適性・利便性向上に貢献する生活インフラサービスを提供
- 公営競技事業では、地域活性化に資する社会的意義の高い事業を展開



- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工および売電が現在の主力事業



- 高速道路上のエンジニアリング&メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



Appendix

10

10

JESアカデミーの取組み ファシリティ事業

エンジニアエコシステム

若手や中堅層を育成し
スペシャリスト人材へと導く

グループ会社の菱電気工業やその他のグループ会社との間で、実際に複数の人材相互出向を開始しており、今後も社員の意向に沿った人材交流を進めています。



※グループ会社から日本エコシステムに出向中の現場写真



10

JESアカデミーの取組み 交通インフラ事業

橋梁点検技術者の人材不足を解消するため、グループ会社の日新ブリッジエンジニアリングと連携。JESアカデミーを通じた技術者育成を交通インフラ事業にも展開し、教育の充実や人材確保を図る



ACCESSION 実践的な技術の継承

グループ会社の垣根を越え、さまざまな部署や現場に挑戦できる環境を整え、豊富な知識を持つ技術者から直接技術を継承する場を設けることで、円滑な学びの機会を提供し、技術継承を促進。



RECRUITMENT インフラ点検の人材確保

社会インフラの老朽化が進み、メンテナンス需要が高まる一方、インフラ点検の人材が業界全体で不足していることを鑑み、グループ一括採用で人材を確保。

CHALLENGE 橋梁点検技術者資格取得

橋梁（鋼橋・コンクリート橋）の点検→診断→措置→記録というメンテナンス技術を有する橋梁点検技術者の資格者を指す。

10

JES 一宮ビル (自社所有賃貸ビル)

LEED 認証の取得が完了

LEED 認証は、非営利団体 USGBC が開発・運用する、ビルト・エンバイロメントの環境性能評価システムです。持続可能な設計や建築物の環境性能を評価する国際的な指標であり、エネルギー効率や資源の最適利用、室内環境品質など複数の基準をもとに審査されます。



ニュースリリース :<https://www.jp-eco.co.jp/news/view/1734>

外観の緑化



屋上の緑化

農園を活用した障がい者雇用支援事業

障がい者雇用支援を目的として、菌床しいたけ農園を JES グループの施設内で運営。黒豆生産に続き 2 件目の新規事業。今後も障害をお持ちの方の更なる雇用促進を目指します

雇用促進・職業能力の開発

黒豆生産

業界団体とパートナーシップを結び、協力先が取り組む黒豆生産における種まき、収穫、農作物の加工品の梱包、選別、販売等を通じて、社会貢献。



社内で黒豆製品を販売

社内における障がい者支援の認知向上を目的として、生産した黒豆を使用した商品を社内販売で提供しています。



菌床しいたけ農園

事業所の限られた省スペースを活用し、室内にビニールハウスを設置して、新たにしいたけ栽培を開始しました。



10

アクアリウム 新規案件の受注

01

碧南水族館（アオダイショウガラス交換）

愛知県碧南市が運営する「碧南水族館」におけるガラス交換工事を受注いたしました。地域に根ざした公共施設の改修に携わることで、地域社会に密着しながら地域文化の活性化に貢献してまいります。



02

伊勢シーパラダイス（屋外プールアクリル板交換工事）

三重県伊勢市にある「伊勢シーパラダイス」にて、屋外プールのアクリル板交換工事を実施いたしました。これまでの水槽関連工事に加え、より多様な生物施設への対応にも取り組んでおります。

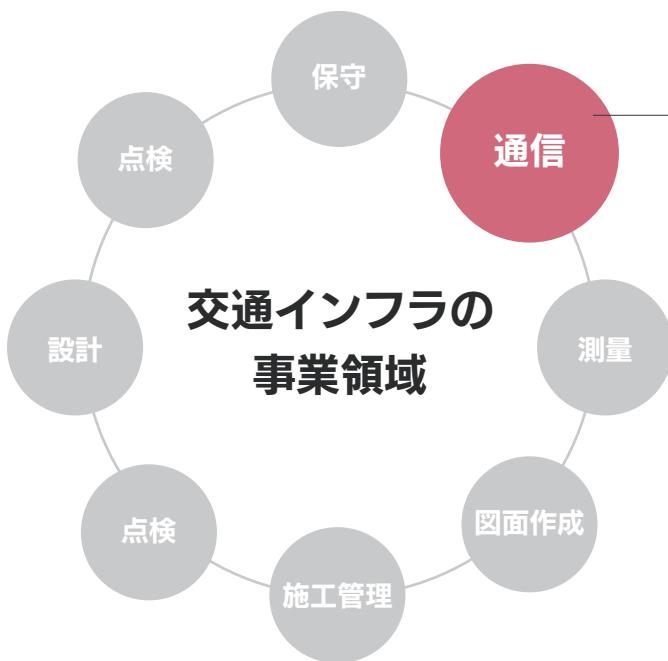


10

M&A Jes 東海通建(株)グループ化

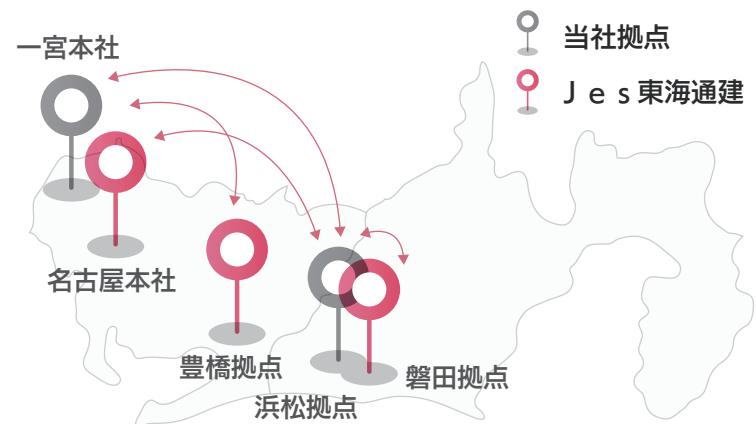
(株)東海通建から電気通信工事業を承継した Jes 東海通建(株)（愛知県豊橋市）をグループ化（2025年4月）。高速道路の電気通信設備を整備する当社の浜松事業所とのシナジーを中心に連携強化・事業拡大を図る

事業領域の拡大



- **情報通信インフラ領域**
ネットワーク
携帯電話基地局等の通信キャリア設備
- **道路通信設備領域**
ETC 通信設備
トンネル内通信設備
非常電話設備

機動的な連携体制



- 顧客や営業ネットワークの相互活用により、シナジーを発揮
- クロスセルの方向性も視野に入れており、交通インフラのみならず ファシリティ事業とも連携の拡大を推進

10

M&A (株)三進グループ化

岐阜県を中心に建設コンサルタント業務を手がける(株)三進（岐阜県大垣市）をグループ化（2025年4月）。グループ会社で岐阜県の建設コンサルタントである(株)日新ブリッジエンジニアリングとのシナジーを狙う



- 既存顧客の相互共有
三進と日新ブリッジエンジニアリングの連携を通じて既存顧客を共有し、総合建設コンサルタント業務としての受注機会の相互拡大
- 受注業務の規模・範囲の拡大
対応エリアの拡大と専門人材の充実により、多様で広範な業務の受注が可能な体制を構築
- JES アカデミーの活用
グループ会社間を越えたエンジニア育成・資格取得の推進

M&A (株)宇佐美松鶴堂グループ化

240年以上に亘り、文化財や寺社仏閣の屏風画・掛け軸等の修理を手がけてきた(株)宇佐美松鶴堂をグループ化(2025年2月)。豊かな文化資本を活かし、文化財保全技術の承継を通じた社会貢献を行うことで、企業価値の向上と持続的な発展を目指す

これまで



- 長年の実績と信頼
国宝、重要文化財など多種多様な実績
- 高度な伝統技術の継承
代々受け継がれてきた職人技術や知見が蓄積
- 幅広いネットワークと専門家との連携
美術館・博物館・文化庁・大学などとの豊富な連携

これから



- 経営資源の融合
職人技術 × 企業の資金力・経営ノウハウ
- ブランディング
「伝統 × 革新」の企業イメージの構築
- グローバル展開
海外市場に向けたPR・修理・技術指導も視野に



経営改革により収益を向上

10

本社移転

新JES一宮ビルより、さらなる挑戦を。

新JES一宮ビルが無事に竣工し、2025年2月28日をもって新社屋へ本社を移転、3月3日より営業を開始いたしました。これもひとえに皆様方のご支援、ご厚情の賜物と、心より深謝申し上げます。これを機に、従業員一同一層の精進を重ね、皆様のご期待に沿うべく邁進してまいります。何卒変わらぬご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。



10

JES 一宮ビル 138 市民ギャラリー

地域への貢献の一環として、138 市民ギャラリーに作品展示

2025 年 3 月 11 日、JES 一宮ビルにおきまして、尾西信用金庫のご高配と惜しみないご支援を賜り、同ビル 2 階 138 市民ギャラリーに展示する記念すべき第一号作品として「農道」（作：安藤嘉一先生）を寄贈いただきました。

138 市民ギャラリーは、一宮市の文化と芸術を広く発信する場として、この記念すべき第一号作品の展示を皮切りに、今後も地元にゆかりのある絵画、写真、工芸品など、ジャンルを問わず多彩な作品を展示してまいります。



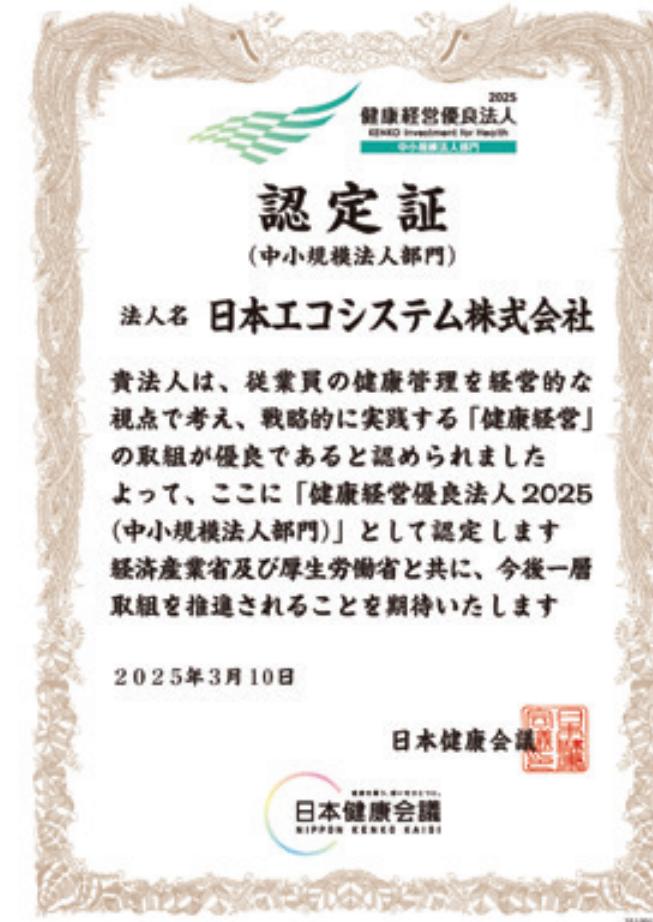
健康経営優良法人 2025 の取得

「ずっと働きたい」と思える職場へ。

2025年3月10日、日本健康会議が実施する「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」に5年連続で認定されました。

当社は、「従業員一人ひとりの能力開発に努め、従業員が安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員の多様性、人格、個性を尊重する」という行動指針に基づき、従業員の健康維持と増進に向けて積極果敢に取り組んでおります。

当社にとって、人材は重要な経営資源です。目まぐるしく動く社会情勢の変化に耐えながらも事業成長を推進させるためには、企業として、単にスキルアップの機会を拡充するだけではなく、優秀な人材が職場に継続して居続けてもらえるような環境づくりが必要だと考えております。



10

統合報告書 2025 の発刊

統合報告書 2025 を発表。

当社グループに対する理解を一層深めていただくことを目的に、「統合報告書 2025」を公開いたしました。本報告書では、当社グループの中長期的なビジョン、価値創造の取り組み、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関する考え方などを分かりやすくご紹介しております。詳細は当社ホームページよりご覧いただけますので、ぜひご一読ください。

<https://www.jp-eco.co.jp/ir/library/others/>



10 採用活動促進

次世代を担う人材の採用を強化。

岐阜県内の高校生を対象とした就職活動応援誌『Start!』に、当社の企業情報が掲載されました。本誌は岐阜県内の各高等学校へ配布される予定であり、地域の若年層に向けた当社の認知度向上と、将来を担う人材との新たな接点創出が期待されます。当社は「300年企業」を目指す中長期的なビジョンのもと、次世代人材の育成に注力しており、JESグループ全体としても持続的成長に向けた採用活動を強化しております。今後も地域社会との連携を深めつつ、未来を担う若い世代に対して成長機会を提供できる企業であり続けることを目指します。

Start!

<https://gifu.job-start.jp/company/1070/>



10 | コンプライアンス研修

小さな意識が、大きな信頼へ。

グループ人材戦略室の取り組みとして、グループ会社である OTS、日本ベンダーネットをはじめとする全 6 社において、「コンプライアンス研修」を実施いたしました。

当社では、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上と、組織全体の健全な運営を重要な経営課題の一つと捉え、定期的な社員教育の機会を設けております。

今回の研修もその一環であり、JES グループ全体における法令遵守および企業倫理の徹底に向けた意識醸成を目的としております。

今後も引き続き、グループ一丸となってコンプライアンス体制の強化と企業価値の向上に取り組んでまいります。



無事故・無災害の功績評価

3年間の軌跡が感謝状に。

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社より、富士保全サービスセンター管内施設点検作業補助業務における過去3年間の無事故・無災害の成果を評価いただき、感謝状を拝受しました。当社は、安全を重視した施工技術の提供を通じ、社会の安心と快適を支える使命を掲げています。今回の表彰は、その使命に基づく日々の取り組みが認められたものと受け止め、社員一同の励みとしています。今後も災害発生時における迅速なインフラ復旧支援をはじめ、社会基盤の高度化や環境負荷の低減を目指した取り組みに真摯に向き合い、技術力の向上と革新を通じて、新たな価値を創造してまいります。



アクアリウム 新規案件受注 串本海中公園



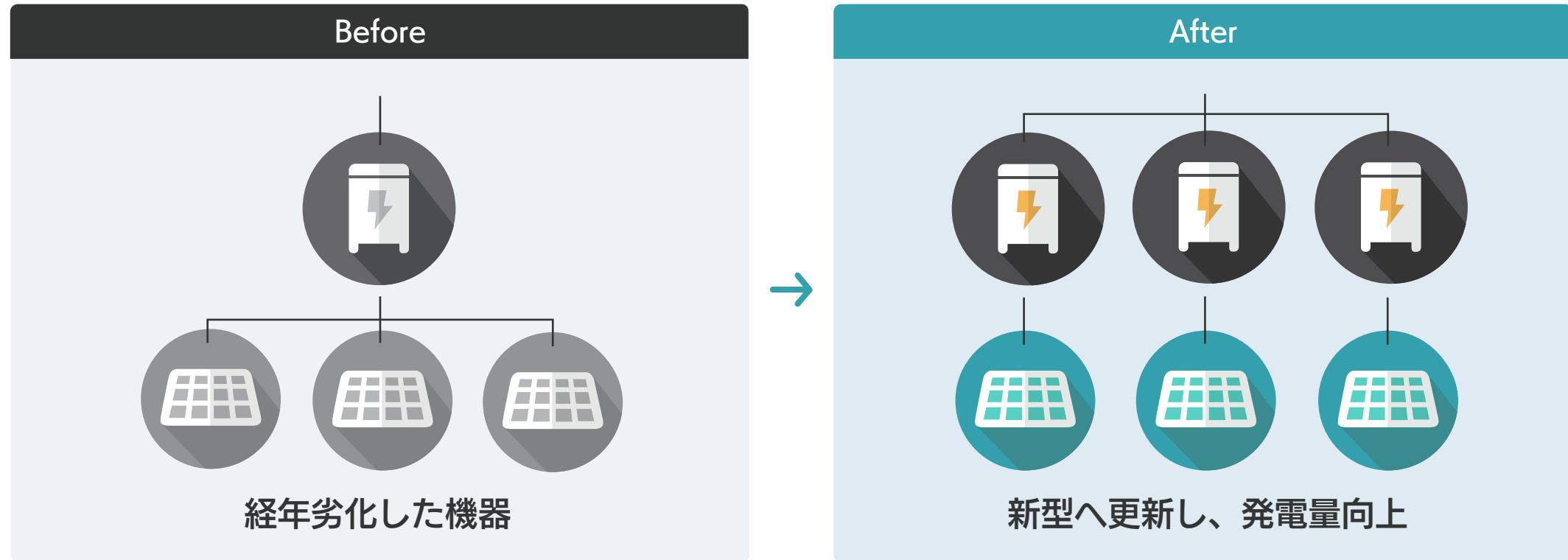
和歌山県の「串本海中公園」において、冷凍機および熱交換器の更新工事を受注いたしました。同施設につきましては、これまで工事を受注しており、継続的なご依頼をいただいております。今後は、工事範囲のさらなる拡大を図り、水族館における企画段階から施工までを一貫して対応できる体制構築を目指してまいります。



10

太陽光のリパワリング案件を拡大

旧型のパワーコンディショナーを新型へ更新・再設置することで発電量の向上および盗難対策を図るリパワリング案件の需要が高まっており、それに伴い受注件数も拡大



10

一気通貫ビジネスモデル案件の実現

「設計・施工 × 薬剤供給 × メンテナンス」という一連の商流を一気通貫で実現を電子部品材料製造工場向けの排水処理プラントの大型案件で実現

一気通貫の案件受注を実現



電子部品材料向け設備工事

電子部品材料
スマートフォン・車に必要な部品



製造工場



当社環境事業のノウハウ

プラント設計コンサル・エンジニアリング
BOD・COD 値の安定処理
※1 ※2

東証・名証 IR フェアへの出展

IR活動強化で繋げる信頼力。

「名証 IR エキスポ」および「日経・東証 IR フェア」へ出展いたします。

名証IRエキスポ2025

開催日時：9月5日（金）10:00～17:00、9月6日（土）10:00～16:30

開催場所：名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」

日経・東証IRフェア2025

開催日時：9月26日（金）、9月27日（土）10:00～17:00

開催場所：東京ビッグサイト 西3・4ホール

iR EXPO 2025

日経・東証 IR フェア 2025



障がい者雇用（野菜栽培）

多様な力で、未来を動かす。

黒豆の生産やしいたけ農園に続き、新たに野菜の栽培を開始しました。

これまで培ってきた農業分野での知見と経験を活かし、社員一人ひとりの協力のもと、地域資源を活用した新たな取り組みとしてスタートしています。今回の野菜栽培は、単なる事業拡大にとどまらず、障がいのある方が自然に囲まれた環境の中で、のびのびと自分らしく働ける場を広げることを目的としています。こうした取り組みを通じて、今後さらに障がい者雇用の可能性を広げるとともに、誰もがやりがいと生きがいを感じられる職場づくりをめざしてまいります。私たちはこれからも、持続可能な地域社会の実現に向けて、農業を通じた多様な雇用創出に積極的に取り組んでまいります。



地域文化と共に歩む企業。

毎年ご協賛させていただいております「一宮七夕まつり」に、今年も協賛いたしました。本まつりは、一宮市を代表する伝統行事のひとつであり、地元の皆さんに長年親しまれてきた夏の風物詩です。色とりどりの飾りが街を彩り、多くの人々が訪れるこのお祭りは、地域のにぎわいを創出し、人と人とのつながりを育む大切な機会でもあります。当社は、一宮市に根ざす企業として、こうした地域文化の継承や活性化に貢献できることを大変光栄に感じております。日々の業務を通じて社会のインフラを支えると同時に、地域の皆さんと共に笑顔あふれるまちを築いていくことも、私たちの重要な使命のひとつだと考えております。



学生向けキャリア教育へ貢献

学生の夢を育てるキャリア教育。

このたび、愛知県内の中学生を対象としたキャリア教育副読本『中学生のためのお仕事ブック 2025 年度版』に、当社の企業情報が掲載されました。本冊子は、将来の進路選択に向けて職業への理解を深めることを目的としたもので、愛知県内の約 30 市町村の中学校 2 年生に向けて、56,000 部が配布される予定です。文部科学省では、生徒一人ひとりが社会的・職業的に自立し、豊かな人生を歩むために必要な力を育むことを目指し、キャリア教育の充実を推進しています。当社としましても、地域社会の一員として、こうした次世代の教育を支える取り組みに今後も積極的に参画し、未来を担う若者たちの学びを応援してまいります。



本資料における注意事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは
現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先 管理本部IR担当

📞 0586-64-9249

✉️ ir.jesg@jp-eco.co.jp